仙北市

部局経営方針シート

2026年度

1　総務部・・・・・・・・・ 2
2　企画部・・・・・・・・・ 5
3　市民福祉部・・・・・・・ 9
4　観光文化スポーツ部・・12
5　農林商工部・・・・・・15
6　建設部・・・・・・・・・20
7　教育委員会・・・・・・24
8　病院事業(医療局)・・・30

- 2026年７月版 -

幸福度全国Ｎｏ.1を目指すまち

本市では、幸福度全国Ｎｏ.1という市政理念の実現を目指し、地域を次世代へ継承するため、市民の皆さまの声をお聞きしながら、直面している課題解決や市民の皆さまの喜びにつながるような、結果/成果を重視した施策を推進します。

幸福度の定義

感情的で一瞬しか続かない短い幸せHappinessではなく、身体的、精神的、社会的に良好な状態を持続する長いスパンでの幸せ「Well－being（ウェルビーイング）」を幸福度の定義とします。

部局経営方針とは？

各部局の取組を市民の皆様に広く周知するため、次年度予算編成時期に作成、翌年４月には予算の状況や法令改正、組織再編・人事異動などにより見直しを行います。部局長は部局の経営者であるとの視点から、その権限と責任に基づく経営方針を明らかにするとともに、各部局の役割・使命や取り組むべき課題などを示しています。

７つのあるべき姿

①「目標を持ち、やりたいことがある人が多いまち」
②「やりたいことにチャレンジしている人が多いまち」
③「日々の暮らしで生きがいを感じている人が多いまち」
④「暮らしの中で、健康になれるよう努力をしている人が多いまち」
⑤「自分のことを大切に思ってくれる人たちがいるまち」
⑥「頼れる人がいるまち」
⑦「自分の居場所や役割があるまち」



仙北市長　田口知明

2026年度の重点方針

攻めの方針３本の槍

①「全産業における若年層の雇用促進」
②「一人一人に寄り添った徹底した子育て支援」
③「若者・女性が暮らしやすい、働きやすい地域・職場づくり」

守りの方針３枚の盾

①「公共施設のスクラップアンドビルドの実施」
②「ＤＸを利活用した行政サービスのスピードアップ」
③「中期財政計画を作成し、安定した財政へ」

2026年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

総務部	部（局）	記入年月日	令和 8 年 7 月 1 日	部（局）長名	齋藤　洋	記入者所属氏名	総務部　齋藤　洋

1.部の役割・使命	総務部は、市長直轄の下、行政経営の舵取り役を担うほか、各部の円滑な施策推進と連携を調整・支援していく部門になります。 確実な市民サービスを実施するための人材育成と組織力強化、持続可能な行財政基盤の確立、情報を的確に届ける広報の強化、DXを活用した業務効率化の推進、的確な災害対応と安全・安心なまちづくりを実践していきます。	2.部の人的資源（人） 20260701 現在	正職員	87	
			会計年度	21	

3．6つの重要視すべき価値	（1）市民一人ひとりのために	R8目標	誰一人取り残すことのない施策の全庁的な展開の推進に努めるとともに、市民一人ひとりのニーズに耳を傾け、市民サービスの向上を目指し、業務の改善、新たな施策をたゆまず進めます。
		R7目標	同上
	（2）常に目標・目的を問い続け	R8目標	市民一人ひとりのニーズに即した施策の実施にあたり、目標や目的の設定の妥当性までに遡り施策の進捗状況、目標達成状況を定期的に確認するとともに、状況に即した施策に修正し、より実効性の高い施策を展開します。
		R7目標	同上
	（3）新しい手法・発想へのトライを続け	R8目標	行政手続きのオンライン化やデジタル技術を積極的に活用し、業務の効率化と市民サービスの向上を図ります。市民の利便性向上と行政運営の最適化を両立させ、誰もがデジタル化の恩恵を実感できる「スマート自治体」の実現をめざします。
		R7目標	行政手続きのオンライン化などの新しい手法を積極的に活用し、業務の効率化を図るとともに、市民にもそれらの手法の恩恵が得られるような施策の展開をめざします。また、業務量調査を継続して行うことで人員配置及び人件費の適正化を進めます。
	（4）心身共に健康で	R8目標	すべての職員が心身ともに健康で職務にあたれるような職場環境の整備に努めます。また、各種ハラスメント等への対策を講じます。
		R7目標	すべての職員が心身ともに健康で職務にあたれるような職場環境の整備に努めます。また、カスタマーハラスメント等への対策を講じます。
	（5）市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R8目標	総合的な施策の展開を図るため、全庁的な連携に努めます。また、市民サービス向上のため、ニーズの把握に努めます。さらに、所管事項に関連する団体との連携により施策の効果を最大限に高めます。
		R7目標	同上
	（6）コスト・成果にこだわる	R8目標	仙北市財政が危機的状況であることを認識し、早期に身の丈に合った財政規模への転換と歳入歳出のバランスを図ることに取組みます。
		R7目標	仙北市財政が市発足以来最大の危機的状況であることを認識し、早期に身の丈に合った財政規模への転換と歳入歳出のバランスを図ることに取組みます。

4．6つの重要視すべき価値R7目標に対する総括	電子申請システムを活用した公共施設利用申請が一部施設で開始されており、LINEセグメント配信による情報発信は引き続き多くの場面で活用されているとともに、8月の大雨災害時における情報共有もノーコードツールが活用され、共有データの二次利用にもつながっている。 市役所全業務の統一した事務引継書（事務処理マニュアル）作成が進み、業務の見える化や属人化の解消を図る土台づくりができてきたことから、人員不足への対処や先を見据えた人事異動への対応が可能となる見込み。 財政健全化のため、前例踏襲的な予算は削減するなど全庁的な削減の意識は定着しつつあるが、結果的にふるさと納税に一部頼った予算編成の早期解消が大きな課題である。また、病院事業への一般会計からの繰出し増への対応も踏まえ、今後数年間は厳しい財政運営となることから中期財政計画を作成のうえ運営にあたる。

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業 ※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可	指標及び目標値（KPI）
課題1	○施策名（関係する課） 人材マネジメントの推進 （総務課） ○達成水準（KGI） 職員の能力を最大限に引き出し、発揮させ、職員の成長が組織力の向上につながるよう、人材育成の取組を総合的に進める。 【KGI】 「持続可能な行財政基盤の確立並びに行政サービスの充実」満足度(市民意識調査) 2024：16.0%から満足度を上げる。 ○関係計画等 ・仙北市特定事業主行動計画 ・仙北市人材育成方針	市民から「頼りにされる職員」を育成するため、専門性を備えた人材の確保や、職員研修の充実などを通じて職員の資質と対応力を高め、市民サービスの質的向上を図る。これにより、市民一人ひとりが安心して行政に相談できる体制を整え、満足度の向上へとつなげる。また、働きやすい職場環境の整備も欠かせない要素であり、両立させながら人材マネジメントの推進を行う。 ①人材確保 中長期計画を踏まえながら、地域の実情や行政需要の変化への対応や確保・育成が困難な人材の補完、組織の魅力を効果的に発信。 ②人材育成（人材育成方針の改定） 職員研修を通した人材育成、人事評価を活用した職員の育成。職員アンケートの実施。チャレンジする人材確保。 ③職場環境の整備 育児・介護等と仕事との両立支援、組織や仕事に対する貢献意欲の向上。年次有給休暇取得の推進。 ④女性活躍の推進 女性職員の多様なポストへの積極的配置。	①専門職員採用各年1人以上 2025実績 1人 2026目標 1人 ②職員研修者数 2019実績 84人 2022実績 53人 2023実績 123人 2024実績 341人 2025実績 683人 2026目標 232人 ③男性の育児休暇取得率 2019実績 00.0% 2022実績 16.7% 2023実績 42.9% 2024実績 60.0% 2025実績 100% 2026目標 100%（目標） ③全職員の年次有給休暇12日以上取得 2023実績 13.53日 2024実績 13.44日 2025実績 12.66日 2026目標 12.00日 ④女性の管理職登用率 2019実績 11.4% 2024実績 21.0% 2025実績 21.1% 2026目標 20.0%以上
課題2	○施策名（関係する課） 持続可能な行財政基盤の確立並びに行政サービスの充実 （財政課、総務課、企画部） ○達成水準（KGI） 持続可能な安定した財政運営を確保するため、歳出のスリム化を図り、臨時的な財源に依存しない財政構造を確立すること 【KGI】 経常収支比率の改善（第3次総合計画期間内で-2ポイント）、財政調整基金繰入額の縮小による基金現在高の確保（標準財政規模の10%～20%） ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・仙北市定員適正化計画	本市における近年の予算編成は、ふるさと仙北応援基金や財政調整基金の取崩しに頼ったものとなっており、外的要素により致命的な影響を受けるおそれがある。その危機的状況を克服し、将来を見据えた持続可能な財政構造の確立のため、引き続き部局を超えて連携し、次の事業に取り組む。 ①施策評価（主担当：企画部） ②事務事業評価（主担当：企画部） ③補助金評価（主担当：財政課） 【参考】財政調整基金残高の目安（標準財政規模の10%～20%） ※11億9,074万円～23億8,148万円 2025年度標準財政規模：119億744万5千円 ④業務量調査結果に基づく人員配置及び人件費の適正化 （主担当：総務課） 総体的な業務時間の削減のため、時間外勤務の削減を推進する。 ⑤第5次定員適正化計画（R7～R11）の推進（主担当：総務課）	①②③の実施による一般財源の確保及び財政調整基金繰入額の縮小 ・財政調整基金繰入額の縮小 2023実績 7億6千万円 2024実績 2億9千万円 2025実績 0円 2026目標 0円 ・補助費等の縮小 2023実績 57億06百万円 2024実績 58億59百万円 2025実績 52億82百万円 2029目標 50億円 ④時間外勤務手当の削減 2023実績 10%減 2024実績 11%減 2025実績 28%増 2026目標 10%減 2029目標 20%減

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題3	○施策名（関係する課） 消防体制の充実・防災体制の強化 （総合防災課） ○達成水準（KGI） 【KGI】 消防団員数：現状維持（404名） 自主防災組織：R7＝37組織→R8＝40組織 ボランティア登録者数(企業・団体)： R7：33団体→R8：38団体 ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・仙北市地域防災計画 ・仙北市国土強靭化地域計画	近年多発している豪雨災害をはじめ、本市特有の火山災害など各種事案に対応するため、消防団員の確保、災害時の情報伝達手段の充実等、災害対応の充実を図ることが必要である。また、R7.8月の大雨災害時のとおり、被災者敷地内のゴミ出しや泥だし等マンパワーを必要とする作業を実施し、被災者の生活再建の支援を行うためにはボランティアの力が必要不可欠であるため、今後もボランティア登録者を増やす取組が重要である。 ①減少傾向にある消防団員数を増やせるよう、募集活動を強化し、地域防災力の向上に努める。 ②新情報伝達システムで安全安心メール、LINEなどを積極的に活用し、防災に関する情報発信を行うことにより市民の防災意識を高める。 （自主防災組織結成の機運を高める。） ③各町内会等自主防災組織結成を推進し、災害時における自助・共助の意識啓発に努める。併せて既存団体へは、毎年の訓練実施や防災教室の開催を促すなど組織の活性化を図りながら、活動を継続していけるよう支援を継続する。（自主防災育成事業等） ④仙北市社会福祉協議会と協力しながら、災害ボランティア事前登録団体の募集活動を強化し、発災後における被災者への迅速な支援に努める。 【チャレンジ事業】	①新規団員勧誘活動を年2回以上実施 ②新情報伝達システム（@せんぼく）による防災情報を月30回以上発信する。 （2026年度目標：360回/年） ③大規模訓練を年1回以上実施 自主防災育成事業等により町内会防災学習を5回以上実施 ③町内会防災訓練・学習会の開催 3回以上実施 ④ボランティア登録募集について、市HPへの掲載とLINEにおける月1回以上の募集を呼びかける。
課題4	○施策名（関係する課） 課税の適正化及び公平な負担の実現 （税務課、収納推進課、固定資産税調査室） ○達成水準（KGI） 【KGI】 ・目標収納率の達成 普通税 96.1% ・滞納繰越額の圧縮 翌年度繰越額 8千万円未満 ○関係計画等	適正な課税に基づく税負担の公平性や自主財源確保のため、滞納者に対し納付勧奨、財産調査（※給料の調査等）及び適正な滞納処分（※差押等）を行う。	①滞納処分の実施 財産を有する滞納者に対して差押えを行う。 ・滞納処分件数 2021実績 113件 2025実績 55件 2026目標 60件 ②財産調査の実施 滞納者の差押え可能な財産を調査する。 ・財産調査件数 2021実績 558件 2025実績 398件 2026目標 300件
課題5	○施策名（関係する課） 行政手続きのDX 促進 （総合情報センターおよび各課） ○達成水準（KGI） 【KGI】市民意識調査「持続可能な行財政基盤の確立並びに行政サービスの充実」の満足度 ※「満足」・「やや満足」の合計 ・現状（2024） 22.1% ・目標（2026） 19.5% ○関係計画等 ・仙北市DX推進計画	「いつでも、どこでも」手続きができる環境を整え、住民の利便性を高めると同時に、職員の窓口業務を減らし、より専門的な業務に集中できるようにするための取組。 ・電子申請による行政手続きのオンライン化 ・証明書コンビニ交付サービス ・公共施設利用申請のスマート化 必要な情報を、必要な人に、適切なタイミングで届けることで、住民の市政への関心を高め、いざという時の行動につなげるための取組。 ・LINEセグメント配信システムによる情報発信 紙文化や煩雑な手続きから脱却し、職員の業務負担を軽減するとともに、行政運営にかかるコストを削減するための取組 ・電子契約システム導入の検討 ・情報システムの共同調達の検討（県・県内自治体） ・電子決裁システムの導入 仙北市DX推進計画の見直し（令和8年度）	・オンライン化した手続きの数 （累計） 2024実績 46件 2025実績 75件 2026目標 87件 ・コンビニ交付可能な証明手続きの交付件数割合 2024実績 15.1% 2025実績 18.0% 2026目標 21.0% ・DX化した事務・行政手続き （新規取組数累計） 2024実績 26件 2025実績 35件 2026目標 45件
課題6	○施策名（関係する課） 公共施設等マネジメントの推進 （管財課、公有財産所管課等） ○達成水準（KGI） 【KGI】公共施設の総延床面積を35%減 （2016年度から2045年度までの30年間） ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・仙北市公共施設等総合管理計画 （個別施設計画）	公共施設について長期的な視点から更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うことで財政負担を軽減・平準化することが必要である。 ①市有財産や市有施設のうち、今後活用が見込めない施設は、除却・ 譲渡を推進する。	①除却 3施設、譲渡2施設 （第2期個別施設計画より） 2025 除却実績 ▲11,919㎡ 旧角館総合病院（管理棟除く） ▲10,920㎡ 旧角館中町庁舎 ▲265㎡ 旧西木公民館 ▲671㎡ 田中住宅（一部） ▲63㎡ 2025 譲渡実績 なし

2026年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

企画部	部(局)	記入年月日	令和 8 年 7 月 1 日	部(局)長名	泉谷 衆	記入者所属氏名	企画部 泉谷 衆

1.部の役割・使命	企画部は、少子高齢化が進むふるさと仙北市を幸福度全国No.1のまちにするための旗振り役として、第3次仙北市総合計画(令和8年度～11年度)を着実に実行します。 2026年度は、部の最優先事項に移住定住、空家対策、公共交通網の利便性向上及び若者の働く場の創出を据え、先進的な取組を積極的に取り入れます。 施策の立案・実行にあたっては、市民の声を反映するべく、令和4年度から実施してきた市民意識調査に加え、新たにタウンミーティングを開催します。 また、柔軟且つ部局横断的な連携を図り、前例にとらわれない新たな視点による徹底的な無駄の排除と安定歳入の確保により、喫緊の課題である財政健全化を実現します。	2.部の人的資源(人) 20260701現在	正職員	14
			会計年度	7

3・6つの重要視すべき価値	(1)市民一人ひとりのために	R8目標	持続的で内面に根ざした幸せ(well−beingウェルビーイング)を幸福と捉え、常に市民の声に耳を傾け、全ての市民が幸福度に満たされる仙北市を目指します。
		R7目標	同上
	(2)常に目標・目的を問い続け	R8目標	第3次仙北市総合計画に掲げた施策の実施にあたり、市民意識調査や新たに「(仮称)せんぼくタウンミーティング」を開催し、市民ニーズを的確に把握するとともに、実態に見合った形に常に計画を見直します。
		R7目標	第2次仙北市総合計画に掲げた施策の実施にあたり、市民意識調査により市民ニーズを的確に把握するとともに、実態に見合った形に常に計画を見直します。
	(3)新しい手法・発想へのトライを続け	R8目標	前例に囚われず、常に広い視野で物事を捉え、新たなトライを繰り返します。
		R7目標	同上
	(4)心身共に健康で	R8目標	職員も一市民であり、明るく風通しのよい職場づくりにより、プライベートでの充足感を得られるワークライフバランスに配慮します。
		R7目標	同上
	(5)市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R8目標	庁内連携を強化し、総合的に施策を進めます。また、関係団体との連携を密にし、常に最新の情報を得て事業効果を最大限に高めます。
		R7目標	同上
	(6)コスト・成果にこだわる	R8目標	引き続き行財政改革を継続し、その成果を市民福祉の向上などに還元します。
		R7目標	R6年度に断行した行財政改革を継続し、その成果を市民福祉の向上などに還元します。

4. 6つの重要視すべき価値R7目標に対する総括	令和7年度、幸福度(7～10)の高い市民の割合が46.8%(前年比1.2ポイント増)に上昇した。市民幸福度に影響を与えた施策を分析し、令和8年度施策に生かす。また、50.0%以上としていたKGIの達成に近づいたことから、目標を55.0%に上方修正する。 財政健全化に向けた庁内の意識改革は進んだが、依然としてふるさと納税頼みの財政構造からの脱却には至っていない。一般会計のみならず、病院事業会計など特別会計を含め、引き続き庁内を挙げて取り組まなければならない。

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業 ※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可	指標及び目標値（KPI）
課題1	○施策名（関係する課） 移住定住の促進、空家活用及び空家対策（まちづくり課） ○達成水準（KGI） 【KGI1】 市民意識調査で家族や知人に移住定住を勧めたい（強く思う・まあまあ思う）人の合計値30.0% 2025年度：26.9% 【KGI2】 社会増減数 -152人 2025年度：−164人※2024年データ （秋田県年齢別人口流動調査報告書より） 【KGI3】 市民意識調査で空家対策への満足度（不満・少し不満）の合計値を45.0%に下げる。 2025年度：54.2% ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画	**【移住定住の促進、空家活用及び空家対策】** ◇他市町村にはない観光、アクティビティ、リトリート体験など市の優位性を最大限に生かし、移住体験事業などを通じて移住・定住者の増加を図る。また、定員割れが続く角館高校を対象に県外からの入学生を呼び込む「地域みらい留学」を開始する。 ◇空家対策の拡充に取り組み、近隣に悪影響を与えている危険な空家について、法及び令和7年度に全面改正した市条例に基づき、行政代執行や緊急安全措置により断固とした対応を行う。 ■上記を達成するための具体的事業 A 移住体験推進事業 2泊3日から最大6泊7日、市内7箇所にある移住体験ハウスでお試し移住無料体験を募集。滞在中の移動経費の一部を最大5万円助成するほか、移住体験中の市内巡り、家探し（空き家バンクや民間物件）及び子育て・教育環境などを移住者の先輩が丁寧にアテンドして移住に繋げる。 B 定住対策推進事業・定住促進奨励金・移住応援助成金 移住者の住宅取得に対し固定資産税相当額を3年間助成。 移住初期費用に定額10万円（子ども一人当たり5万円の加算あり）、暖房、除雪器具などの購入実績に応じて最大10万円を助成。 都内で開催される市町村移住フェアへ積極的に参加。 C 移住支援金・地方就職支援金【国交付金】 東京圏からの世帯移住に対し、100万円／世帯を助成（18歳未満の子どもがいる場合、一人当たり100万円を加算）、単身移住には60万円を助成。 D 結婚新生活支援事業【国交付金】 新婚世帯へ、新居の取得、リフォーム、賃貸及び引っ越しに掛かる費用の一部を助成。夫婦ともに39才以下の場合は上限30万円、夫婦ともに29才以下の場合は上限60万円。 E 地域みらい留学事業【チャレンジ事業】 定員割れの続く角館高校に県外からの留学生を募集。R8年度入学から事業開始、市内2箇所の民間施設で留学生を受入れ。 F 危険空き家対策事業 年々増加する空家の解体補助金を現在の上限20万円から大幅アップする予定。併せて、令和7年9月議会に改正した市条例、国法律及び法定協議会に格上げした仙北市空家等審議会により、市民生活に危険を及ぼしている空家の行政（略式）代執行・緊急措置の実施を本格的に検討。特に行政（略式）代執行については令和8年度中の実施1件を目指す。	ABCDE)秋田県移住定住登録に登録した移住者数 15人／年 2025実績：累計84人 2026目標：累計99人 F)市補助金を活用して解体した空家数35件／年 2025実績：15件／年 2026目標：35件／年 F）全空家に占める特定空家数（市ランクD・E）の数 2025実績：319件 2026目標：284件
課題2	○施策名（関係する課） 若者が働けるまち・挑戦できるまちづくり（企画政策課） ○達成水準（KGI） 【KGI1】 社会増減数（再掲） -152人 2025年度：−164人※2024年データ （秋田県年齢別人口流動調査報告書より） 【KGI2】 社会増減率 −0.62% 2025年度：−0.72%※2024年データ （秋田県年齢別人口流動調査報告より） ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画	**【若者が働けるまち・挑戦できるまちづくり】** ◇若年層の移住、保護者など関係人口の増加、雇用創出及び市内経済活性化を目的に、KBHジャパン（株）と設立に関する協定書を締結したインターナショナルスクールの設置の取組みを加速化させる。 ◇高度外国人材等の受入れを積極的に進め、市内企業の人材不足解消に寄与するとともに、創業機会を提供する。 ◇若者の働く場創出に取り組む。特に若い女性を対象に、ITエンジニアの移住を促進し、併せて市内在住者を対象としたITスキル養成講座を実施する。 ■上記を達成するための具体的事業 A インターナショナルスクール誘致事業 国交付金を活用した3か年事業が終了し、令和8年度は通訳費用など最小限の予算として職員による人的サポートを中心に白岩校の8月開校をサポートする。併せて、田沢湖畔旧ハートハーブを利活用した本校舎の建設に向けて、市有財産の売却などを進める。 B 高度外国人材等受入促進事業【国交付金】 3か年事業の最終年を迎え、市内企業とのマッチングや創業機会の創出に係る予算を計上。企業のインターン活用が採用実績に繋がるようサポートする。 C 女性デジタル人材活躍推進事業【国交付金】 IT技術者、特に女性のUIJターンのためのモニターツアーを開催。 併せて市内の女性を対象に、IT技術講習会を開催し、市内IT企業への就業等を支援。 D 国等交付金を活用した事業【チャレンジ事業】 令和8年度は、企画部、観光文化スポーツ部で国の第2世代交付金活用を見込む。	A)インターナショナルスクール数／1校 2025実績：0校 2026目標：1校 B)外国人雇用・創業ワンストップセンター利用数（累計） 2024実績：41件 2025実績：77件 2026目標：82件 C）デジタルこまち育成研修の受講者数（累計） 2026目標：4人 D）国等交付金の採択数（累計） 2025実績：14件 2026目標：18件

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題3	○施策名（関係する課） ①安定した歳入確保と歳出抑制 （企画政策課） ○達成水準（KGI） 【KGI1】 市民意識調査 幸福度高（7～10）の割合55.0%以上 2025年度：46.8% ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・仙北市行財政改革に係る事業・施策評価実施要領及び同評価要領 ・仙北市財政健全化庁内検討委員会設置要綱	**【安定した歳入確保と歳出抑制】** ◇喫緊の課題である財政健全化に向けて、歳入の増加、歳出の削減、施設管理の最適化及び施策・事務事業評価などを実行して、一般会計のみならず特別会計を含めて財政の立て直しを図る。 健全で持続可能な財政基盤を確立させることにより、市民サービスに充てる予算の拡充を図り、生活の質を高める施策を一層充実させる。その結果として市民が安心して暮らせる環境を整え、市民一人ひとりの幸福度の向上につなげる。 ◇市民意識調査は、市民の声を聴く重要な機会であることから「わからない」を減らすべく、広報等で各部局の施策周知を強化する。 ◇法定外目的税（宿泊税）導入の検討を加速化させる。 ■上記を達成するための具体的事業 A 法定外目的税等（宿泊税）の導入【チャレンジ事業】 昨今、他自治体での導入が進む宿泊税について、特別徴収義務者となる宿泊施設や観光者への説明・理解を丁寧に進め、導入に向けた研究会を開催したい。 B ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業費 年々増加している個人版ふるさと納税について、返礼品の細かなブラッシュアップ、周知方法の拡充などによりさらなる増加を目指す。 C 政策支援アドバイザー事業費 事務事業評価、施策評価などの行財政改革、各行政計画の策定などに引き続きアドバイザーを入れ、効率的、効果的な行政運営を行う。	A)法定外目的税等の導入を目指した研究会等の開催回数 2回以上／年 2025実績：0回 2026目標：2回以上 B)個人版ふるさと納税 2024実績：38.6億円 2025実績：39.6億円 2026目標：41.0億円 ◆2024年度東北ランキング（参考） 1位 気仙沼市121億 2位 花巻市84億 3位 角田市49億 4位 山形市47億 5位 天童市40億 6位 仙北市39億（全国55位） C)事務事業評価等による見直し・改善数 評価事業の割合 2025実績：23.3%（20／86） 2026目標：25.0%（25／100）
課題4	○施策名（関係する課） ①公共交通機関の維持と利便性の向上 （まちづくり課） ○達成水準（KGI） 【KGI1】 市民意識調査で公共交通施策への満足度のうち、（不満・少し不満）の合計値を45.0%に下げる 2025年度：50.0% ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・仙北市地域公共交通計画	**【公共交通機関の維持と利便性の向上】** ◇計画の最終年度となる仙北市地域公共交通計画に基づき、各地域の公共交通網を適宜見直して利便性の向上を図る。並行して、令和9年度からの新計画に市民の声を反映させる。 ◇これまで実施してきた公共交通座談会を拡充し、公共交通乗車体験イベント・意見交換会を開催する。市内公共交通機関の利用者増と運行コストの削減を目指す。 ■上記を達成するための具体的事業 A 生活路線代替バス運行 市民バス（たっこちゃんバス、スマイルバス及び田沢おたのしみバス）及びデマンドタクシー（西木北部・南部、神代、白岩）を安定的に運行するとともに、市民要望を的確に取り入れて利便性向上を図りながら市民の移動手段を確保する。併せて、効率的な運行経路、費用負担を模索し、令和8年度は特に指定管理期間の最終年を迎えるたっこちゃんバスの小型化orデマンド化を進める。 B 生活バス路線対策費 民間バス運行事業者が運行する市内9路線に対して補助金を交付。路線の維持を図る。 C よぶのる角館運行事業費 JR東日本との共同による運行を継続し、主に角館地区の市民の足として、また観光者の移動利便性向上に努める。 D 秋田内陸縦貫鉄道㈱運営費補助金等 令和6年5月に4者で締結した秋田内陸線の持続的運行に係る基本合意書（秋田県、仙北市、北秋田市及び秋田内陸縦貫鉄道株式会社）に基づき、国の鉄道事業再構築事業などを活用しながら安定運行に努める。	ABCD)利用者一人当たりの運行コスト（市負担分） 2025実績：1,581円／利用者数 2026目標：1,550円／利用者数 ABCD）公共交通利用率（市民意識調査） 2025実績： 5.9% 2026目標：10.0% ABCD）公共交通乗車促進イベントの実施（拡充）1回／年 2026目標：1回

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題5	○施策名（関係する課） ①男女共同参画・女性活躍の推進、市民協働による地域活性化（まちづくり課） ○達成水準（KGI） 【KGI1】 市民意識調査での「男女共同参画社会の形成」に対する（満足・やや満足）の合計値30.0% 2025年度：25.3% 【KGI2】 市民意識調査での問3（5~7）の”ある”の平均値75.0% 2025年度：68.1% ※問3（5~7は以下のとおり） （5）自分のことを大切に思ってくれる人がいる （6）頼れる人（家族・友人・地域の人たち）がいる （7）自分の居場所や役割がある（家庭・地域・職場等） ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・仙北市第4次男女共同参画計画	**【男女共同参画・女性活躍の推進、市民協働による地域活性化】** ◇女性が働きやすく、活躍できる環境づくりを進めるため、女性の声を市政に取り入れ、支援するとともに、家庭、職場のワークライフバランスに配慮した男女共同参画社会の形成に積極的に取り組む。特に若い女性の転出超過を改善するため、働く場の創出を図るほか、女性が中心となって運営している民間団体が実施する「おしごと体験KIDS MARCHE（キッズマルシェ）」を引き続きバックアップする。 　また、新婚生活のスタート支援や、結婚を希望する市民の出会いの支援などを継続するとともに、民間事業者等との協働など新たな取組についても検討していく。 ◇全世代の市民の声を広く市政に積極的に反映させていくことを念頭に、市民と市長とが直接に意見交換できるよう、新たにタウンミーティングを実施する。 ◇少子高齢化が顕著で人口減少に歯止めがかからず、地域コミュニティの維持に大きな影響を与えている。平成22年に始まった地域運営体事業は役員の高齢化などの課題を抱えているが、地域の拠り所として市民が将来にわたり安心して暮らせるよう維持していく。また、地域おこし協力隊制度を積極的に活用し、多方面から地域コミュニティへの参画を促すとともに新たな”気づき”による地域活性化を図る。 ◇戊辰戦争時に角館の町並みを守った「濱田謹吾少年」に由来する長崎県大村市・吾往会との交流、佐竹氏の繋がりを由来とする秋田市、茨城県常陸太田市との3市連携交流を中心に国内交流を市民レベルで活性化を図る。 ■上記を達成するための具体的事業 A 男女共同参画推進事業・仙北市女性の活躍推進事業 令和8年度は、第4次男女共同推進計画の最終年になることから、実績を精査して新たな計画策定に生かす。 B 出会い・結婚支援事業費 結婚を望む方への支援として、あきた結婚支援センターへの登録料1万円を助成する。 C 地域運営体事業 市内9地域の地域運営体活動をバックアップする。併せて相互の活動について共有する連絡協議会を開催し、活動内容の多様化を促す。 D 地域力ステップアップ事業 市民の創意工夫による地域活性化を図るため、事業費の2／3、1件30万円を上限に補助金を交付する。 E 一般コミュニティ事業・自治総合センター 国・県が募集する様々なコミュニティ助成事業を市民に広く周知するとともに地域活性化に資する事業を実施する事業者に、国・市が金利を担保するふるさと融資事業を展開する。 F 地域おこし協力隊事業 様々な視点からのまちおこしを担う地域おこし協力隊制度を積極的に活用する。 G 姉妹都市等交流推進事業 令和8年度は市民訪問団を市広報等で募集して市民レベルの交流を活性化する。 （課題1のI再掲）女性デジタル人材活躍推進事業【国交付金】 IT技術者、特に女性のUIJターンのためのモニターツアーを開催。 併せて市内の女性を対象に、IT技術講習会を開催し、市内IT企業への就業等を支援。	AB)男女共同参画社会という用語を知っている人の割合（市民意識調査） 2025実績：70.4% 2026目標：77.8% AB)市内民間事業所の管理職における女性の割合（県労働条件等実態調査より） 2025実績：30.5% 2026目標：31.6% AB)市内民間事業所男性の育児休暇取得の割合（県労働条件等実態調査より） 2025実績：50.0% 2026目標：51.3% CDEFG)市民活動等に関わった方の割合（市民意識調査） 2025実績：21.7% 2026目標：23.0% CDEFG)【新規】市長タウンミーティングの実施3回以上／年 2026目標：3回以上

2026年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

市民福祉	部（局）	記入年月日	令和 8 年 7 月 1 日	部（局）長名	草彅 秀典	記入者所属氏名	市民福祉部 草彅秀典

1.部の役割・使命	市民福祉部の使命は、市民に寄り添い、生活・健康を守り支えていくことになります。 少子高齢化の様々な課題に対応し、子育て支援の充実と健康寿命の延伸を図るための各種施策を通じて幸福度の向上に貢献していきます。 市民が住み慣れた場所で、自分の居場所を持ち、健康で生きがいを感じられる、人と人がつながる共生のまちづくりを進めます。 国や秋田県の制度変更に臨機応変に素早く対応し、市民の幸福度の向上に貢献していきます。	2.部の人的資源（人） 20260701 現在	正職員	146	
			会計年度	111	

3・6つの重要視すべき価値	（1）市民一人ひとりのために	R8目標	ライフステージやイベントに合わせ、サービスが必要な方について誰一人取り残さずサービス提供ができるよう配慮し、一人ひとりに丁寧に接します。
		R7目標	同上
	（2）常に目標・目的を問い続け	R8目標	業務の目標・目的を常に意識し、変化する制度の影響については、その趣旨に則っているのかの見直しを行います。
		R7目標	同上
	（3）新しい手法・発想へのトライを続け	R8目標	システムや基幹システムの標準化・オンライン化を進め、それを活用できる体制を整えて、利用者の利便性向上や職員の事務作業軽減を図ります。
		R7目標	DXをはじめ、所管するシステムや基幹システムの標準化・オンライン化を進め、それを活用できる体制を整えて、利用者の利便性向上や職員の事務作業軽減を図ります。
	（4）心身共に健康で	R8目標	常にコミュニケーションをとることに努め、職員相互に変化への気づきができる働きやすい職場環境を作ります。
		R7目標	同上
	（5）市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R8目標	重層的な支援体制ができるように、それぞれの役割と責務に基づき対等な立場で協力し相互に補完し合って連携していきます。
		R7目標	同上
	（6）コスト・成果にこだわる	R8目標	市民の生活と健康の維持への影響とコストの妥当性を常に意識して事業を行い、幸福度の向上を目指します。
		R7目標	同上

4. 6つの重要視すべき価値R7目標に対する総括	概ね順調に事業遂行しているが、次の課題の検討が必要となっている。 1, 出生率低下に対する市全体での対応. 2, 更なる子育て支援に繋げる施策の立案。

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業 ※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可	指標及び目標値（KPI）
課題1	○施策名（関係する課） 子育て支援保育の充実 母子（父子）福祉の充実 （こども家庭センター） ○達成水準（KGI） 少子化による人口減少、家庭・地域の子育て環境の変化、母子（父子）家庭、低所得世帯等の課題に「子ども誰でも通園制度」等の新たな施策を行い、更なる子育て支援の充実を図る。 仙北市市民意識調査満足度（満足+やや満足） ・子育て支援保育の充実 2025:30.3%→2029:35.0% ・母子（父子）福祉の充実 2025:26.6%→2029:30.0% ○関係計画等 ・仙北市こども計画	少子化による人口減少、共働きや核家族化が進んだことによる家庭・地域の子育て環境の変化、母子（父子）家庭、低所得世帯等の課題に、こども誰でも通園制度等の新たな施策を行い、子育て支援の充実を図る。 ①子どもが心身ともに健やかに育つとともに、保護者が安心して仕事と育児家庭の両立ができるよう、認定こども園等の施設による教育・保育の推進します。 A 放課後児童対策事業 B 認可保育園等管理費・運営費 C 教育・保育施設給付費 D 社会福祉法人はなさき仙北補助金 ②母子保健機能と児童福祉機能双方を一体的に運営することで、各種子ども・子育て支援事業の充実を図る。 E 子育て支援拠点事業 F 母子保健対策事業 G こども家庭センター運営事業費 H 妊婦のための支援給付事業費 I 家庭児童相談事業 ③子育て家庭の経済的安定を図るため、育児支援金、出産・子育て応援ギフト等の給付や保育料助成、多子世帯へのファミリーサポート券配布など、適切かつ効果的に実施。 J 子育てファミリー支援事業費 K すこやか子育て保育料助成事業 L 育児支援金給付事業 M 保育園入所待機児童等支援事業（補助金） ④沢山の事を一人で抱え込みがちな「ひとり親家庭」の暮らし難さを軽減し、親子が安心で安全な生活を送ることに繋げるため、面談等で子どもの成長や家庭状況の変化を把握し、必要な時期に必要な支援や制度・手続きの紹介などを行っていく。 N ひとり親家庭福祉事業 O 母子生活支援施設等入所措置費負担金 P ひとり親家庭日常生活支援事業	①～③出生数 2025実績：48人 2026目標：60人 ①～③仙北市市民意識調査「仙北市で仙北市で子育てをしたい」と思う割合 2025実績：未実施 2026目標：20.0% ④こども家庭センターへの相談件数 2025実績：1,588件 2026目標：1,600件
課題2	○施策名（関係する課） 保健活動・健康づくりの推進 （保健課） ○達成水準（KGI） 仙北市市民意識調査満足度（満足+やや満足）「生涯を通じた健康づくりの推進」 2025:51.9%→2029:55.0% 自殺者0人を目指す 2025:8人→2029:0人 ○関係計画等 ・けんこう仙北21計画 ・仙北市自殺対策計画	①全ての市民が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、健康対策を立てることで自分らしく健やかに健康寿命を延伸する健康づくりに取り組む。 また、身体とこころの健康づくりに関する情報の普及啓発の実施と健康づくりに取り組む機会を提供することで市民の健康意識の向上と実践を目標とする。 A 健康増進事業・予防事業・大腸がん予防事業 B 健康ポイント事業 C 心の健康づくり・自殺予防対策事業	①健康を意識した何らかの取組をしていますか？（取り組んでいる） 2025実績：52.4% 2026目標：53.0% ②健康ポイント事業参加者数 2025実績：206人 2026目標：205人 ③ゲートキーパー養成講座受講者数（心の健康づくり・自殺予防対策事業） 2025実績：95人 2026目標：190人
課題3	○施策名（関係する課） 社会保障制度（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険事業）の充実 （国保市民課） ○達成水準（KGI） 一人当たりの医療費54万9千円 （2025-43万1千円）※2026年1月現在 ○関係計画等 秋田県国民健康保険運営方針 仙北市国民健康保険保健事業計画 秋田県後期高齢者医療広域連合委託事業	国民健康保険と後期高齢者医療の被保険者を対象とした事業を実施し、疾病の早期発見による医療費の抑制や、疾病予防、健康への意識向上を図ることで一人当たりの医療費の上昇を抑える。 A 国民健康保険人間ドック助成 B 後期高齢者医療短期人間ドック助成 C 特定健康診査事業 D 後期高齢者健康診査事業 E 高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業	特定健康診査受診率 2024実績：41.0% 2026目標：41.5% 後期高齢者健康診査受診率 2024実績：20.1% 2026目標：21.0% 訪問者数（高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業） 2025実績：131人 2026目標：130人 通いの場参加者数（高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業） 2025実績：1,903人 2026目標：1,910人

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題4	○施策名（関係する課） 高齢者福祉の充実 （福祉政策課・包括支援センター） ○達成水準（KGI） 仙北市市民意識調査満足度（満足）＋（やや満足）「高齢者福祉の充実」 2025:36.4%→2029:39.0% ○関係計画等 仙北市高齢者福祉計画	KGIとして「市民意識調査満足度（満足・やや満足）」を設定することで、施策の成果を市民の実感として測定し、PDCAサイクルによる継続的な改善を図る。また、行政の取組の進捗や課題が明確になり、より効果的な高齢者福祉施策の推進につながる。 A 緊急通報装置給付・貸付事業 B 高齢者世帯等除雪支援事業 C 介護予防普及啓発事業 D 総合相談支援事業	①緊急通報装置給付・貸付事業利用者数 2025実績：43人 2026目標：47人 ②高齢者世帯等除雪支援事業利用者数 2025実績：407人 2026目標：355人 ③介護予防普及啓発事業参加人数 2025実績：395人 2026目標：290人 ④総合相談支援事業相談件数 2025実績：2,430人 2026目標：1,800人
課題5	○施策名（関係する課） 低所得者福祉の充実（福祉政策課） ○達成水準（KGI） 仙北市市民意識調査満足度（満足・やや満足） 「低所得者福祉の充実」 2025:24.2%→2029:25.0% 重層的相談件数 2025：20件→2029：50件 生活相談において問題解決に向かった割合 2025:47.5%→2029:100.0% 仙北市市民意識調査満足度（満足・やや満足） 「障がい者（児）福祉の充実」 2025:29.1%→2029:35.0% ○関係計画等 仙北市地域福祉計画 仙北市障がい者計画 仙北市障がい福祉計画 仙北市障がい児福祉計画	A 重層的支援体制整備事業【チャレンジ事業】 　単独では対応しきれない、解決に結びつかない複雑化・複合化した市民が抱える課題を、枠を超えて寄り添って支援していくことが幸福度の高いまちづくりにつながる。 　その為、地域資源の活用や新たな支援団体創出の支援を行うことによって、本人と社会とのつながりづくりに向けた支援に繋げる。 B 生活困窮者自立相談支援事業 　経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなる恐れがある方に対して支援を行う必要があるため、最低生活の保障と自立の助長を図る。 C 障がい者福祉事業 　障がい者（児）及び難病患者の経済的負担を減らすことで福祉の増進を図り、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように支援をする。	①重層的支援会議件数 2025実績：7件 2026目標：7件 ①生活困窮者支援のための団体数 2025実績：0件 2026目標：1件 ②生活困窮者自立相談支援事業（相談件数） 2025実績：60件 2026目標：45件 ②生活保護（受給世帯の減少） 2025実績：259世帯（2月末平均） 2026目標：255世帯 ②被保護者就労支援事業（支援者数） 2025実績：14人 2026目標：11人 ③障がい者（児）タクシー利用券給付事業の総支給額のうちの利用率 2025実績：59.7% 2026目標：60.0% ③人工透析通院費における受給者の割合（受給者数/対象者数） 2025実績：62.0%（36/58人） 2026目標：61.1%（33/54人） ④相談支援事業所及び相談総数 2025実績：1所・1,411人 2026目標：1所・1,580人 ③権利擁護相談件数 2025実績：44件 2026目標：60件

2026年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

観光文化スポーツ部	部（局）	記入年月日	令和 8 年 7 月 1 日	部（局）長名	田口 聡美	記入者所属氏名	観光文化スポーツ部 田口聡美	

1.部の役割・使命	豊富な地域資源（農村の営み、自然や温泉、歴史と伝統）を活用した観光産業の振興、歴史的文化遺産の保存・継承と活用、スポーツによる健康づくりの促進などにより、交流人口、宿泊者数、観光消費額を増やし、市の活性化を図ります。そして、「仕事などやりたいことがあるまち」「日々の暮らしで生きがいを感じてくれるまち」づくりを進め「幸福度全国No.1」を目指します。	2.部の人的資源（人） 20260701現在	正職員	30
			会計年度	22

3・6つの重要視すべき価値	（1）市民一人ひとりのために	R8目標	市民ニーズを的確に把握し、市民生活の向上につながることを目指します。
		R7目標	事業を進める上で、市民ニーズを的確に把握し、市民生活の向上につながることを目指します。
	（2）常に目標・目的を問い続け	R8目標	市民にどのような効果、影響があるかを考えながら業務を推進します。必要に応じて新たな目標の検討など変化にも柔軟に対応していきます。
		R7目標	これまでの取組を点検し、変化する社会を見据えた目的の修正、新たな目標の検討を行います。
	（3）新しい手法・発想へのトライを続け	R8目標	仙北市独自の貴重な観光資源や文化財の継承を持続可能にするための手法、発想を検討し続けます。
		R7目標	情報収集に努め、DXなどの新たな手法を検討し、新たな情報発信、業務効率化などを行います。
	（4）心身共に健康で	R8目標	業務の進捗確認を行い、部職員の業務量の平準化、心身ともに働きやすい職場環境づくりを目指します。
		R7目標	部職員の業務量、心身の状況に配慮し、働きやすい職場環境をつくります。
	（5）市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R8目標	市役所内・市民・企業・団体などと情報共有、情報提供を行い、連携して事業を進めていくことで、事業効果を最大限に高めます。
		R7目標	目標達成に向け、庁内各部署、市民、関係団体、企業等と積極的に連携します。
	（6）コスト・成果にこだわる	R8目標	外部資金の獲得に努め、事業の費用対効果、成果検証、スクラップ＆ビルドを意識し、限られた予算で目標とする成果を出すように努めます。
		R7目標	事業の費用対効果、成果検証、スクラップ＆ビルドを意識し、限られた予算で目標とする成果を出すように努めます。また、R6年度と同様にクラウドファンディングや外部資金の獲得に努めます。

4. 6つの重要視すべき価値R7目標に対する総括	年度を通じて市役所内や市民との対話や現状確認を行い、各事業が市民生活の向上にどのように寄与するかを意識し、物価高騰など社会情勢の変化に併せ、目標を修正しながら取り組むことがより進んだ1年だった。その結果、文化財保護に直結する事業や自然公園整備などの提案、事業実施につながった。また外部資金の獲得についても、各課で積極的に取り組み、事業実施には部内で連携するなど確実に成果を上げている。人員不足については、常態化しており、課題は依然として深刻である。職員の心身の健康と安定した職場環境の構築については、次年度においても優先課題とし、DXなどの新たな手法の検討、業務効率化にも取り組んでいく。観光分野においてはインバウンド需要の回復により一部の指標で大きな成果が得られた一方で、頻発する熊の出没による風評や、バス料金の高騰など、外部要因が大きく影響し当初の目標値に達しない項目もある。教育旅行については日程短縮や、生徒数の減少といったことが大きい。これまでの取組を点検し、変化する社会を見据えた目的の修正、新たな目標の検討を行っていく。

5．取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業 ※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可	指標及び目標値（KPI）
課題1	○施策名（関係する課） 観光誘客のプロモーション促進 （観光課・スポーツ振興課） ○達成水準（KGI） 観光入込客数の増加 2024：390万人 → 2029：500万人 観光消費額の増加（国内） 2024：339億円 → 2029：392億円 ※仙北市調べの観光入込客数に秋田県観光統計公表の観光消費額を乗じた推計値 ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 ・第3次仙北市観光振興計画	①効果的な観光地プロモーションを実施する。 A 観光宣伝事業 B 3D連携を基軸とした交流拡大事業 C 人と地域を創生する観光誘客事業 D （一社）田沢湖・角館観光協会補助金 ②各種イベントの開催を支援し、観光誘客の増加をめざす。 E 刺巻ミズバショウ祭り補助金 F 角館の桜まつり事業費補助金 G たざわ湖・龍神まつり開催費補助金 H 角館祭りのやま行事実行委員会補助金 I 抱返り紅葉祭開催費補助金 J 上桧木内の紙風船上げ事業 K 角館の火振りかまくら事業費補助金 L 田沢湖高原雪まつり開催費補助金 ③田沢湖マラソンの効率的な運営と宿泊参加者や来訪者の満足度向上を図り、観光目的以外の来訪者を増やす。 M 田沢湖マラソン大会負担金	観光協会公式HPページビュー数 2024実績：183万回 2025実績：214万回 2026目標：207万回 2029目標：300万回 観光キャラバン等の実施回数 2024実績：9回 2025実績：6回 2026目標：9回 2029目標：10回 観光PR紙媒体配布数（パンフレット、ガイドマップ、リーフレット） 2024実績：8万部 2025実績：7.9万部 2026目標：8.5万部 2029目標：10万部 広告宣伝実施数（新聞、フリーペーパー、雑誌、ウェブ、SNS） 2024実績：9回 2025実績：7回 2026目標：9回 2029目標：10回 公式SNSフォロワー数（X） 2024実績：2,496人 2025実績：2,726人 2026目標：2,746人 2029目標：3,650人 田沢湖マラソン参加者数 2025実績：3,412人 2026目標：3,432人 2029目標：3,500人
課題2	○施策名（関係する課） 質の高い観光地形成 （観光課） ○達成水準（KGI） 市民意識調査 質の高い観光地形成（満足・やや満足） 2025：26.6% → 2029：30% 観光消費額の増加（国内） 2024：339億円 → 2029：392億円 ※仙北市調べの観光入込客数に秋田県観光統計公表の観光消費額を乗じた推計値 観光客満足度の向上（国内） 2024：42.15% → 2029：45.00% ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 ・第3次仙北市観光振興計画	①国立公園、県立自然公園等をはじめとした観光地の整備を計画的に行う。また、観光施設に関しても観光地のイメージと訪問意欲、快適な滞在に直結するため修繕を行う。 A 観光施設整備事業 B 観光施設維持管理事業 C 田沢湖キャンプ場管理運営事業 D 駐車場管理運営事業 E 駅前広場施設管理運営事業 F 自然ふれあい温泉館維持管理事業 G 秋田駒ヶ岳登山利用適正化協議会負担金 H 管理運営事業 I 交付金・ガバメントクラウドファンディングの利活用	指定管理施設の修繕件数 2024実績：2件 2025実績：1件 2026目標：3件 2029目標：3件 市営駐車場の修繕件数 2024実績：3件 2025実績：1件 2026目標：4件 2029目標：5件 自然ふれあい温泉館の修繕件数 2024実績：3件 2025実績：6件 2026目標：4件 2029目標：5件 市営公衆トイレの修繕件数 2024実績：10件 2025実績：6件 2026目標：11件 2029目標：12件 十和田八幡平国立公園・県立自然公園地内の施設改修件数 2024実績：6件 2025実績：11件 2026目標：8件 2029目標：12件 交付金・GCFの利活用による施設整備件数 2024実績：1件 2025実績：1件 2026目標：2件 2029目標：4件
課題3	○施策名（関係する課） 質の高い観光地形成（インバウンド） （交流デザイン課） ○達成水準（KGI） 市民意識調査 質の高い観光地形成（満足・やや満足） 2025：26.6% → 2029：30% 観光消費額の増加（国外） 2024：16億円 → 2029：32.0億円 ※仙北市調べの観光入込客数に秋田県観光統計公表の観光消費額を乗じた推計値 ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 ・第3次仙北市観光振興計画	①仙北市への海外からの来訪者を増やすため、現地でのPR等、積極的な宣伝活動を行うとともに、台湾での商談会や学校訪問を行い誘致を図る。 ジャパンハウスは外務省が世界3都市に展開している観光、商業の拠点だが、2023年には樺細工の取り扱いが始まるなど本事業の成果が出てきている。引き続き観光誘客を視野に入れて事業を展開していく。 また、全国的に高レベルで団体の受け入れが可能なインバウンドグリーンツーリズム、姉妹校、姉妹湖、温泉やマラソン連携協定を通して多くの市民に海外や市内での国際事業に参加してもらうことで、国際交流を国際的な視野を持った青少年の育成と高齢者でも参画可能な事業として位置づけ、さらには交流事業から独自でのセールスを可能とした観光誘客事業に展開させていく。 A 国際観光宣伝・誘客事業 B 台湾修学旅行誘致促進事業 C 青少年国際交流事業 D 人と地域を創生する観光誘客事業 E ジャパンハウスを活用した宣伝誘客事業（予算なし）【チャレンジ事業】	国際団体の受入れ（台湾教育旅行含） ※交流デザイン課調べ 2023実績：5件 2024実績：6件 2025実績：9件 2026目標：9件 2029目標：12件 訪日外国人宿泊者数 ※観光課統計 2023実績：25,508人 2024実績：43,508人 2025実績：57,152人 2026目標：57,175人 2029目標：78,400人

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題4	○施策名（関係する課） 交流人口の拡大と特色ある観光 （交流デザイン課） ○達成水準（KGI） 市民意識調査 交流人口の拡大と特色ある観光（満足・やや満足） 2025：27.0% → 2029：33.8% ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 ・第3次仙北市観光振興計画	①農泊の質の高さ、開業数は国内トップクラスであり、国から農泊インバウンド受入促進重点地域に選定されている（一社）農山村体験推進協議会と連携し、体験プログラムの商品造成や、国内教育旅行の受け入れ、民間事業者が行っている田沢湖周辺の環境を活かしたイベント等への支援にも力を入れていく。 リトリートの推進については、地域おこし協力隊の任務としての活動と事業を関連付けながら交流人口の拡大、本地域への訪問動機づけ、特色ある観光の推進事業として実施していく。 ②農家民宿＋伝統的建造物群保存地区、国立公園、県立自然公園などの活用をすすめ、観光を目的としない経済効果のあがる来訪者の獲得にも取り組む。 A グリーンツーリズム推進事業 B （一社）農山村体験推進協議会補助金 C 教育旅行支援事業 D リトリート推進事業 E 人と地域を創生する観光誘客事業 F 秋田アウトドアベース支援事業（予算なし）【チャレンジ事業】	GT施設宿泊者数 ※交流デザイン課統計 2023実績：17,771人 2024実績：18,066人 2025実績：16,686人 2026目標：18,675人 2029目標：20,700人 教育旅行受入人数 ※交流デザイン課統計 2023実績：16,738人 2024実績：14,969人 2025実績：13,953人 2026目標：15,000人 2029目標：15,000人 宿泊者数 ※観光課統計 2023実績：460,258人 2024実績：483,181人 2025実績：473,928人 2026目標：525,200人 2029目標：588,400人
課題5	○施策名（関係する課） 歴史的文化遺産の保存と活用 （文化財課） ○達成水準（KGI） 市民意識調査「歴史文化遺産の保存と活用」（満足・やや満足） 2025：39.4% → 2029：51.3% 市民意識調査「歴史文化遺産の保存と活用」（わからない） 2025：37.8% → 2029：28.8% ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略	①文化財保護行政の最重要課題は、その価値を認識し、後世に文化財を存続させる機運が充分に醸成されていないことである。対応する施策としてマスタープランとなる「文化財保存活用地域計画」を活用し地域総がかりで文化財保護に取り組み、さらに他部署との連携した事業を行うなどで文化財を活かし、広く市民等への理解を深め次世代へ伝える体制を構築していく。また、未来に残すべき文化的景観・歴史的遺産を市民共有の財産として正しく継承するため、人材育成を進める。特にサクラを含む樹木保護と観光地角館の持続的な環境保全の観点から、樹木医の育成指導を重要施策とする。 A 文化財保存活用地域計画作成事業 B 桜保護管理事業 C 武家屋敷公開管理事業 D 河原田家公開管理事業 ②文化財の建築的価値を明らかにし、新たな文化財指定等今後の保存活用施策につなげていく。また建築の専門職員配置を行い継続的な修理につなげ、本物を残すための施策を行う。 E 近代和風建築等総合調査事業（予算なし） F 歴史的建造物調査事業（予算なし） G 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業	AEF)指定文化財数（累計） 2024実績：194件 2025実績：194件 2026目標：196件 2029目標：200件 AG）文化財修理件数 （2019年度からの累計） 2024実績：13件 2025実績：15件 2026目標：17件 2029目標：20件 AB）施肥活動参加者数 2025実績： 60人 2026目標： 90人 2029目標：180人 ACDG)武家屋敷入館者数 2024実績：13万6千人 2025実績：12万4千人 2026目標：15万2千人 2029目標：20万人
課題6	○施策名（関係する課） 生涯スポーツの推進 （スポーツ振興課） ○達成水準（KGI） 市民意識調査 スポーツを定期的にしている人の割合 2025：32.4% → 2029：35.0% ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 ・公共施設等総合管理計画 ・社会教育中期計画	①市民が気軽にスポーツを楽しめる生涯スポーツを推進するための事業を実施する。 A スポーツ推進委員派遣事業 B スポーツ協会事業費補助金 ②子どもたちのスポーツ振興や心身の健全育成を推進するためにスポーツ少年団の活動を支援する。 C スポーツ少年団本部補助金 ③市民が誰でも気軽に安心安全にスポーツに親しむことができるように社会体育施設を管理運営する。また、機能の充実を図るため、計画的な改修・整備に務める。 D 社会体育施設管理運営事業	AD)スポーツ推進委員派遣依頼があった市民スポーツ・レクリエーションの参加者数 2024実績：517人 2025実績：480人 2026目標：513人 2029目標：500人 B)スポーツ協会会員数 2024実績：1,149人 2025実績：1,081人 2026目標：1,112人 2029目標：1,000人 C)スポーツ少年団団員数 2024実績：395人 2025実績：394人 2026目標：367人 2029目標：280人 スポーツに関わる市民の数は人口減少もあり減ることが予想されるなかでも定期的に行う市民を増やしていく。

2026年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

農林商工部	部（局）	記入年月日	令和 8 年 7 月 1 日	部（局）長名	畠山 徹	記入者所属氏名	農林商工部 畠山 徹

1.部の役割・使命	本市における産業従事者の高齢化や若い人材、後継者不足が深刻・慢性化している現状を踏まえ、農業分野においては、就農者を増やすため、ほ場整備事業を契機とした法人化や農地集積を推進するとともに、ICT・IoT等の先端技術を活用したスマート農業の実践を促進し、魅力ある農業の実現を目指します。また、商工業分野においては、工業団地への魅力ある企業の誘致を推進し、新たな雇用の場を創出するとともに若者が働きやすいと感じる魅力的な仕事の創出、中小企業に対する人材確保等の支援を図り、創造性あふれる産業が息づくまちを目指し、幸福度向上に貢献します。	2.部の人的資源（人） 20260701 現在	正職員	24
			会計年度	10

3・6つの重要視すべき価値	（1）市民一人ひとりのために	R8目標	市民の目線をもち、市民ニーズに的確に対応します。
		R7目標	同上
	（2）常に目標・目的を問い続け	R8目標	変化する社会を見据え新しい目標を検討します。
		R7目標	同上
	（3）新しい手法・発想へのトライを続け	R8目標	情報のアンテナを張り巡らし、自ら積極的に新しい情報を得るよう心がけます。
		R7目標	同上
	（4）心身共に健康で	R8目標	職員一人ひとりが心身ともに健康で安定した職場環境で仕事が出来るよう取り組みます。
		R7目標	同上
	（5）市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R8目標	市役所の各部署、市民、企業、関係団体等と積極的に連携します。
		R7目標	同上
	（6）コスト・成果にこだわる	R8目標	限られた予算の中で、最大限の効果が出せるよう意識・努力します。
		R7目標	同上

4. 6つの重要視すべき価値R7目標に対する総括	目まぐるしく変化する社会情勢において、農林関係では有害鳥獣（クマ、イノシシ）の被害や目撃情報が増加傾向にあり、新たに鳥獣被害防止総合対策交付金を活用して被害防止に務めた。また、8月に発生した豪雨災害における初期対応は部局総出での対応となったが、その後の災害復旧事業については人員が不足となり緊急的な職員配置により対応することとなった。 商工関係では地域活性化起業人制度の活用を含む新規事業が概ね実施できたものの、市民ニーズへの対応には疑問が残る状況となった。また、各課の時間外勤務削減努力にもかかわらず国県直接事業（水田活用交付金事業等）、有害鳥獣対策、森林環境譲与税関連事業、災害対応に伴う業務量に人員が慢性的に不足しているため、職員が心身ともに健康で安定した職場環境で働けるような体制整備が課題となっている。

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業 ※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可	指標及び目標値（KPI）
課題1	○施策名（関係する課） 魅力ある農業の振興 （農業振興課） ○達成水準（KGI） 【KGI】 出荷及び供給目的作物の作付面積 2021実績：4,167.7ha 2025実績：4,044.2ha 2029目標：4,100.0ha ※ 水稲生産実施計画書兼営農計画書 ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・第3期仙北市総合戦略 ・新ふるさと秋田農林水産ビジョン（県）	市の重点品目をはじめとする高収益が期待される園芸作物や6次産業化への取り組み、水稲や大豆、そば等の土地利用型作物の生産性向上や生産コスト低減の取組を支援し、農業所得の向上を図るとともに、複合型生産構造への転換及び持続可能な農業体系の推進・定着を図る。 A 夢ある園芸産地創造事業 園芸作物の生産及び6次産業化に必要な資機材・施設整備に係る費用を助成する。補助率：県費1/3以内、市費1/12以内 B 仙北市畑作園芸等振興事業 水田を活用した畑作園芸品目栽培に必要な資機材等導入費用を助成する。補助率：市費1/3以内（上限35万円） C 農業用マルチコプター導入事業 農業用ドローンの機体導入・操作技能認定証取得に係る費用を助成する。補助率：機体 市費1/3以内（上限50万円）、認定証 市費1/2以内（上限8万円、更新の場合は上限5万円）	【KPI】 AB) ・重点作物作付面積 2024実績：97ha 2025実績：85ha 2026目標：89ha ・認定新規就農者数 （2014年度からの累積件数） 2024実績：17件 2025実績：19件 2026目標：20件 ・農業法人数 2024実績：39組織 2025実績：43組織 2026目標：43組織 C) ・マルチコプター導入台数 （2019年度からの累積件数） 2024実績：30台 2025実績：33台 2026目標：39台 ※導入事業活用件数
課題2	○施策名（関係する課） 畜産の振興 （農業振興課） ○達成水準（KGI） 【KGI】 子牛及び肥育牛出荷頭数 2021実績：384頭 2025実績：335頭 2029目標：420頭 ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・第3期仙北市総合戦略 ・新ふるさと秋田農林水産ビジョン（県）	耕畜連携（資源循環）による環境型農業の推進や低コスト化を図るとともに、畜産にかかる労働力軽減による経営複合化を支援し、安全・安心な畜産物生産の推進と農業所得の向上を図る。 A 畜産導入事業 育種価評価に基づき、優れた育成子畜を導入し、優良子畜生産の推進を図る。補助率（1頭に付き）：優良雌牛導入3万円～、優良牛自家保留3万円、肥育元牛導入5万円 B 夢ある畜産経営ステップアップ支援事業 複合型生産構造への転換・定着を推進し、畜産の産出額拡大を図るため、担い手となる経営体等へ支援する。補助率（1頭につき）：繁殖雌牛導入24万6千円（うち県補助19万7千円）、自家保留10万円（うち県補助8万円） C 大覚野牧場管理運営事業 資源循環を活かした低コスト化や放牧頭数の増加に取り組み、畜産農家の労働力軽減による経営複合化を図る。併せて、大覚野牧場の草地造成及び草地整備を実施し、放牧環境の整備と放牧頭数の増加とともに乾草の増産・増収を図る。草地整備事業が完了し、牧草が生育するまでは牧草地の面積が確保できないため、放牧頭数を制限している。 D 仙北市堆肥センター管理運営事業 家畜排せつ物等の適正な処理とともに、有機質資源としての有効利用を進め、畜産環境の改善と資源循環型農業の推進を図る。	【KPI】 AB) ・肉用牛飼養頭数 2024実績：809頭 2025実績：747頭 2026目標：832頭 C) ・大覚野牧場への放牧頭数 2024実績：37頭 2025実績：45頭 2026目標：58頭 ※草地整備事業完成に伴い受入頭数を拡大。 D) ・堆肥センターでの家畜排泄物の処理量 2024実績：2,192ﾄﾝ 2025実績：2,006ﾄﾝ 2026目標：2,269ﾄﾝ
課題3	○施策名（関係する課） 農業現場を支える人材の確保 （農業振興課） ○達成水準（KGI） 【KGI】 地域計画に登載される地域内の農業を担う者の数（維持） 2021実績：539経営体 2025実績：549経営体 2029目標：500経営体 ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・第3期仙北市総合戦略 ・新ふるさと秋田農林水産ビジョン（県）	農業者の高齢化・離農が進む中、次世代を担う農業後継者が、生産性・収益性の高い技術を習得し安定的・持続的な農業経営基盤確立への取組に対し支援するとともに、新たに農業法人を設立する際の相談窓口として体制を整備し、地域農業の担い手の確保に努める。 A 秋田アグリフロンティア育成研修事業（補助金） 新規就農を目指す若者を対象に、県農業試験場等で研修する研修生へ支援する。月額10万円（うち県補助5万2,500円） B 新規就農総合支援事業（補助金） 青年の就農意欲の喚起と就農後の経営の安定、定着を図る。 ・経営開始資金：認定新規就農者に対して支援する。月額12万5千円、国10/10、最長3年間 ・経営発展支援事業：認定新規就農者の機械・施設等の導入に支援する。補助率：国費1/2以内、県費1/4以内、補助対象事業費上限1,000万円 C 地域で学べ！農業技術研修事業（補助金） 新規就農者の大仙市農業振興情報センターでの研修に対し支援する。月額7万5千円（うち県補助3万7,500円）	【KPI】 ABC) ・認定新規就農者数 （2014年度からの累積件数） 2024実績：17件 2025実績：19件 2026目標：20件 ・農業法人数 2024実績：39組織 2025実績：43組織 2026目標：43組織

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題4	○施策名（関係する課） 土地改良の推進 （農林整備課） ○達成水準 【KGI】 ・担い手への農地利用集積率 2021実績：79.6% 2025実績：79.1% 2029目標：83.0% ○関係計画等 ・新ふるさと秋田農林水産ビジョン（県）	①生産基盤を整備することにより作業効率や生産性を向上させ、法人等の経営体に農地を集積することで担い手の育成や機械コストの抑制が可能となり、地域農業の維持・発展に寄与し農地の大区画化や排水対策等を実施する。現在は、地元負担が無い農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化を推進するあきた型が主流となっている。 A 農地集積加速化基盤整備事業（ほ場整備） 県営事業 補助額 国費55% 県費27.5% 市費10% 地元負担7.5% B 農地中間管理機構関連ほ場整備事業（ほ場整備） 県営事業 補助額 国費62.5% 県費27.5% 市費10% ②農業・農村の有する多面的機能の維持・発展を図るため、地域で行う共同作業を支援し、地域資源の適切な保全管理の推進 C 多面的機能支払交付金事業 補助額 国費50% 県費25% 市費25%	【KPI】 AB) ・ほ場整備率 2024実績：78.0% 2025実績：78.5% 2026目標：79.9% C) ・多面的機能支払制度取組面積 （市内水田面積：4,818ha） 2024実績：3,557/4,818ha 2025実績：3,557/4,818ha 2026目標：3,471/4,818ha
課題5	○施策名（関係する課） 豊かな森林資源の整備と活用促進 （農林整備課） ○達成水準 【KGI】 ・林業就業者数 2021実績：195人 2025実績：210人 2029目標：220人 ・農作物鳥獣被害額の抑制 2021実績：373万4千円 2025実績：207万7千円 2029目標：150万円 ※出典：秋田県 農作物鳥獣被害調査 ○関係計画等 ・仙北市鳥獣被害防止計画 ・新ふるさと秋田農林水産ビジョン（県）	①仙北市の管理する林道（市内98路線）の維持補修、林道橋（市内約48橋）の調査・補修工事を実施する。また、林業者の後継者不足を補いながら管理の行届いていない私有林人工林の整備促進に寄与するため、森林環境譲与税を活用しながら森林資源の活用の推進を図る。 A 林道維持補修費（林道橋） 補助額 国費50% 県費5% 市費45% B 林道維持補修費（林道） 森林環境譲与税 100%充当 C 秋田林業大学校研修費補助事業 森林環境譲与税 100%充当 D 再造林支援事業費補助（2023新規） 森林環境譲与税 100%充当 E 人材育成・担い手支援事業費補助金（2023新規） 森林環境譲与税 100%充当 ②仙北市の鳥獣による農林水産業等の被害を防止・軽減させるため、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律による仙北市鳥獣被害対策実施隊を設置し被害防止に努める。また、近年ツキノワグマの出没が増加し人身被害も多くなっており、実施隊員の若返りや拡充と共に檻の増設が求められている。 F 有害鳥獣駆除事業	【KPI】 AB) ・林道橋補修数（累計） 2024実績：5橋 2025実績：5橋 2026目標：7橋 CE) ・新規林業就業者数（累計） 2024実績：9人 2025実績：11人 2026目標：12人 C) ・林業経営体新規雇用数（累計） 2024実績：6人 2025実績：10人 2026目標：8人 D) ・再造林支援事業活用面積 2024実績：植栽面積 8.7ha 2025実績：植栽面積 6.4ha 2026目標：植栽面積 10.0ha 2024実績：下刈面積 14.0ha 2025実績：下刈面積 22.7ha 2026目標：下刈面積 39.1ha F) ・鳥獣被害対策実施隊員数 2024実績：95人 2025実績：101人 2026目標：103人 ・市所有クマ用檻数 2024実績：33基 2025実績：40基 2026目標：50基

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題6	○施策名（関係する課） 中山間地域及び耕作放棄地の 有効活用 （農業委員会、農業振興課、農林整備課） ○達成水準 【KGI】 耕作放棄地面積 2021実績：41.4ha 2025実績：33.8ha 2029目標：28.0ha ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・第3期仙北市総合戦略 ・新ふるさと秋田農林水産ビジョン（県）	市内農地の大半を占める中山間地域等において、農用地集積による利用の最適化を図るとともに、農用地の適切な維持管理及び多面的機能の発揮を図るため地域の共同活動等に支援する。 A 農地利用最適化交付金事業 農業委員会の積極的な活動を推進するため、担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消活動、新規参入の促進等の農地利用の最適化に向けた活動を推進する。 B 中山間地域等直接支払事業 農業生産条件が不利な中山間地域等において、農用地を維持管理するための協定に従い農業生産活動等を行う集落等に対し支援する。 C 多面的機能支払交付金事業（再掲） 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する。	【KPI】 A) ・担い手への農地利用集積率 2024実績：74.6% 2024実績：79.1% 2026目標：80.0% BC) ・中山間事業、多面的事業の取組面積（維持） 2024実績：3,670.4ha 2025実績：3,657.3ha 2026目標：3,571.2ha
課題7	○施策名（関係する課） 商工業の振興 （商工課） ○達成水準（KGI） 【KGI】 創業・経営塾受講者のうち創業者数 （令和元年度からの累計） 2021実績：6人 2025実績：18人 2029目標：24人 ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・第3期仙北市総合戦略	意欲のある事業者や起業者等への支援、商店や商店街の魅力アップ、商工会等関係機関の支援を強化し、地域経済の活性化を図る。 ①空き店舗等の家賃補助を実施し、商店や商店街の魅力の向上と、市内経済の活性化を図る。 A 空き店舗等利活用事業（補助金） ※補助対象経費の2/5以内、12カ月間、㎡当たり上限2千円、月額上限8万円 ②仙北市で起業・創業したい（する）人が増えることで、新たな人や経済の流れを作り出すとともに、将来的な雇用創出につなげるため、創業・経営塾を開催する。 B 域内起業家育成支援事業（補助金） ※せんぼく創業・経営塾（創業塾）の開催 ③事業の拡大や高効率化、市内で創業等する事業者に対し、設備等の導入経費を支援する。 C 中小企業活性化支援事業（補助金） ④せんぼく創業・経営塾を卒業し起業・創業した者等を対象し、事業開始後のフォローアップを行い、経営の安定化や拡大に結び付ける。 D 創業者フォローアップセミナーの開催 ⑤市内商店街の活性化対策としてイベント等の振興策に対し支援を行い、活性化に努める。 E 商店街等賑わい支援事業（補助金） ※補助対象経費の1/2以内、上限30万円	【KPI】 AE) ・空き店舗等利活用者延べ人数 2024実績：11件 2025実績：13件 2026目標：14件 B) ・域内起業家育成支援事業参加者数 （R元年度からの累計） 2024実績：44件 2025実績：60件 2026目標：66件 C) ・創業塾を受講した中小企業活性化事業補助金活用者数 （R元年度からの累計） 2024実績：12件 2025実績：12件 2026目標：13件 D) ・創業者フォローアップセミナー参加者延べ人数 2024実績：5人 2025実績：5人 2026目標：10人

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題8	○施策名（関係する課） 物産の振興 （商工課・伝承館） ○達成水準（KGI） 【KGI】 山の楽市出店事業者数 2021実績：8件 2025実績：12件 2029目標：13件 樺細工従事者数 2021実績：62人 2024実績：66人 2029目標：66人 ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・第3期仙北市総合戦略	伝統的工芸品等の技術継承や原材料確保を支援する。地場産品の情報発信や販路拡大に努め、認知度向上や地域ブランド化を図る。 ①首都圏にて物産展を引き続き開催し、仙北市産農産物や加工品等の販売のほか、工芸品やイベントなどを含め市の魅力のPRを行う。 A 特産物販売促進対策事業：山の楽市（東京都町田市） ②原材料確保による安定的な商品製作、各種展示即売会出店による販路拡大及びコラボ商品や新商品開発を行う。 B 樺細工振興事業及び伝統工芸品等振興支援事業（補助金） ③伝統工芸士等の高齢化が顕著で減少傾向であることから、新たな担い手確保に努める。 C 伝統工芸樺細工技能後継者育成事業 ④首都圏等での物販イベントに、市内の事業者等が出店する場合の、移動や輸送に係る経費の一部を支援する。 D 物産展等出店支援事業補助金（2024～）	【KPI】 AD) ・山の楽市販売額（農産物販売額を含む） 2024実績：852万6千円 2025実績：1,071万1千円 2026目標：889万5千円 B) ・伝統工芸品生産額 2023実績：2億7,000万円 2024実績：2億6,600万円 2026目標：2億6,700万円 B) ・補助金交付事業における伝統的工芸品販売額 2024実績：640万8千円 2025実績：855万8千円 2026目標：600万円 C) ・伝統工芸樺細工技能後継者育成事業対象者 2024実績：1人 2025実績：0人 2026目標：1人 D) ・物産展等出店支援事業補助金を活用した事業者の販売額 2024実績：505万4千円 2025実績：295万6千円 2026目標：300万円
課題9	○施策名（関係する課） 強みを活かす企業立地推進と県外採用による企業活動強化支援 （商工課） ○達成水準（KGI） 【KGI】 仙北市への転入者数 2021実績：373人 2025実績：306人（2025年9月末） 2029目標：398人 仙北市中小企業採用活動支援事業補助金を活用して採用できた人数（累計） 2029目標：6人 2026年度以降、市の誘致企業認定を受けた企業の採用者数（累計） 2029目標：28人 ○関係計画等 ・第3次仙北市総合計画 ・第3期仙北市総合戦略	企業立地奨励金事業や誘致企業認定制度等により企業誘致を図る。市内企業においては、雇用の確保に向けた支援を厚くし、経営や生産の安定化や拡大を図る。 ①誘致企業認定制度の柔軟な活用や企業の立地及び規模拡大を支援 A 企業立地奨励金の交付 ②創業する事業者に対し設備等の導入経費について支援を行う。 B 中小企業活性化支援事業（新規開業）（補助金） ③市内企業の採用活動を支援し、企業経営の安定化・拡大化を図る。 C 中小企業採用活動支援事業（補助金）【チャレンジ事業】	【KPI】 A) ・誘致企業認定件数（累計） 2024実績：15社 2025実績：17社 2026目標：18社 ・企業立地奨励認定事業者数（累計） 2024実績：8社 2025実績：9社 2026目標：9社 B) ・中小企業活性化支援事業補助金交付件数（R元年度からの累計） 2024実績：46件 2025実績：50件 2026目標：60件 C) ・仙北市中小企業採用活動支援事業費補助金交付件数 2024実績：－社 2025実績：－社 2026目標：6社

2026年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

建設部	部(局)	記入年月日	令和 8 年 7 月 1 日	部(局)長名	三木 啓元	記入者所属氏名	建設部 三木 啓元

1.部の役割・使命	社会基盤(道路、河川、都市計画、市営住宅、公園、冬期交通対策、温泉、水道、下水道)の維持整備に努めることで、安全・安心で暮らしやすく市民が幸福を感じるまちづくりを推進し、「幸福度全国No.1」を目指します。	2.部の人的資源(人) 20260701現在	正職員	27
			会計年度	4

3・6つの重要視すべき価値	(1)市民一人ひとりのために	R8目標	市民一人ひとりの安全・安心で快適な生活環境を築き、守り続けるため、インフラの現状や整備計画を広く提供し理解を得ながら、インフラの建設・維持修繕に努めます。
		R7目標	同上
	(2)常に目標・目的を問い続け	R8目標	持続可能なインフラを実現するため、当市の現状を踏まえ、将来を見据えた目標設定を行い、社会的状況やニーズを把握し軌道修正をしながら、市民の生活向上と地域の発展に貢献します。
		R7目標	持続可能なインフラを実現するため、当市の現状を踏まえ、将来を見据えた目標設定を行い、状況に合わせた軌道修正をしながら、市民の生活向上と地域の発展に貢献します。
	(3)新しい手法・発想へのトライを続け	R8目標	人口減少や財源の縮小に対応するため、新たなインフラマネジメントの検討を図りながら持続可能なまちづくりを目指します。
		R7目標	同上
	(4)心身共に健康で	R8目標	ワークライフバランスの推進に努め、残業の削減、有給休暇の取得を進め、職員一人ひとりが働きやすい職場環境づくりを目指します。
		R7目標	業務配分の適正化により残業の削減、有給休暇の取得を推進し、職員一人ひとりが人生の充足感を得ながら仕事に励めるよう努めます。
	(5)市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R8目標	他部署との情報共有、市民・関係団体との連携強化に努め、事業の効率性と事業効果の最大化を図ります。
		R7目標	同上
	(6)コスト・成果にこだわる	R8目標	事業化に向けた取組として、ライフサイクルコストや事業化のリスク、市民一人ひとりへの効果など多面的に捉え、未来を見据えた事業実施を徹底します。
		R7目標	事業の前段階の調査、計画を徹底し、イニシャルコストだけでなくランニングコストや事業化のリスク、市民一人ひとりへの効果を把握し、未来を見据えた事業実施を徹底します。

4. 6つの重要視すべき価値R7目標に対する総括	・市民の安全・安心な生活環境を維持するため、道路維持補修や交通安全施設の改善要望等に対して柔軟に対応した。 ・例年に比べて積雪量が多かったが、関係機関と連携し冬期交通対策等、特に大きな問題もなく無事終えることができた。 ・今後も地域の要望について、緊急性や必要性等を総合的に勘案しながら対応していく。

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業 ※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可	指標及び目標値（KPI）
課題1	○施策名（関係する課） 安全な水道の供給 （上下水道課） ○達成水準（KGI） 経営基盤の安定化により、持続可能な水道事業の確立を図ります。 【KGI】 ・経常収支比率（水道） 目標値 2029年度 90.0% ○関係計画等 ・仙北市水道事業基本計画 ・仙北市水道事業ビジョン ・仙北市上下水道耐震化計画 ・仙北市水道事業経営戦略	①水道未普及地域解消事業 生活基盤施設耐震化等交付金事業（国庫補助）を活用して、水道普及率を向上させ、料金収入の増を図ります。 ・卒田地区（2030完成予定） 2029目標進捗率： 93.0%（事業費ベース） ②老朽管等更新事業 耐用年数を超えた管路を計画的に更新するとともに有収率を向上させることにより、人件費・薬品費・修繕費等の支出抑制を図ります。財源確保のため、水道管路緊急改善事業（国庫補助）を利用し管路更新を加速化させます。 ・角館、生保内地区の管路更新工事 ③水道事業のDX化 情報の集約、可視化等により事業の効率化を進めます。 ・上下水道料金WEB確認サイト導入の検討（2025実施予定） ※・スマートメーター導入の検討【済】・水道施設台帳の電子化【済】・水道施設監視システムの導入【済】・水道使用異動届オンライン申請【済】	①水道普及率 2024実績 66.5% 2025実績 67.6% 2026目標 67.9% 2029目標 70.0% ②③料金回収率 2024実績 70.4% 2025実績 69.4% 2026目標 80.0% 2029目標 80.0% ②③有収率 2024実績 52.9% 2025実績 53.3% 2026目標 53.7% 2029目標 55.0%
課題2	○施策名（関係する課） 持続可能な下水道サービスの提供 （上下水道課） ○達成水準（KGI） 収支の安定により累積欠損金の解消に努めるとともに、持続可能な下水道事業の実現を図ります。 【KGI】 経常収支比率 目標値 2029年度 100%超 ○関係計画等 ・仙北市下水道ストックマネジメント計画 ・循環型社会形成推進地域計画 ・仙北市下水道事業経営戦略	①自主財源の確保 引き続き普及率の向上に努めるとともに、適宜使用料改定の必要性を検証し、一定規模の営業収益の確保を目指します。 ②施設長寿命化対策 国庫補助金等を活用し老朽化した施設を適切に更新することで、老朽化に係る事故の防止等減価償却率の低下を図ります。 ・田沢湖浄化センター電気機械設備・建具改修（2023～2027年度） ・田沢湖地区管路施設（2026～2032年度） ③企業債の新規発行の抑制 国庫補助金等を最大限活用することで企業債発行に過度に依拠せず投資を行い、長期前受金戻入の増加や支払利息負担の抑制により収支改善を図ります。	①使用料増加率（2020年度決算比） 2024実績 26.06% 2025実績 24.34% 2026目標 14.82% 2029目標 31.25% ②有形固定資産減価償却率 2024実績 17.90% 2025実績 21.19% 2026目標 24.74% 2029目標 35.00%以下 ③企業債残高減少率 2024実績 -27.79% 2025実績 -32.63% 2026目標 -39.21% 2029目標 -50.00%

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題3	○施策名（関係する課） 温泉の安定供給 （上下水道課） ○達成水準（KGI） 供給戸数・口数が減少の中、安定供給により供給数を維持し収入を確保します。 【KGI】 ・普通供給料 目標値 2029年度 2,692万8千円） （17千円×132口×12ヵ月） ○関係計画等 ・仙北市温泉事業経営戦略	①温泉施設設備の維持管理 温泉の安定供給のため、温泉施設の適正な管理運営に努めます。 ・温泉分湯槽メンテナンス業務委託 ・カラ吹き源泉安全対策工事等	○指標及び目標値 ①契約口数に対する供給率 2024実績 100% 2025実績 100% 2026目標 100%以上 2029目標 100%以上 ②供給戸数・口数 2024実績 42戸・132口 2025実績 42戸・132口 2026目標 42戸・132口（現状維持） 2029目標 42戸・132口（現状維持）
課題4	○施策名（関係する課） インフラの整備・補修による安全・安心な生活空間の確保 （建設課） ○達成水準（KGI） 【KGI】 市民アンケート「道路網の整備・交通安全の推進」の満足度を上げる。 満足度（市民意識調査）2029：40% 現状値 2025年度 27.7% ○関係計画等 ・社会資本総合整備計画 ・仙北市橋梁長寿命化修繕計画 ・過疎地域持続的発展市町村計画	道路交通の安全性の確保とストックマネジメントを推進するため、橋梁の長寿命化を図るとともに、適正な維持管理および快適な道路環境の整備に取り組みます。 ①道路新設改良事業（A、B、C、D、E） 住民の要望や危険と思われる市道の改良舗装等及び老朽化した橋梁の補修を計画的に進め道路交通網の整備を推進します。 A 社会資本整備総合交付金事業（補助） 市道観光線道路改良工事ほか B 道路メンテナンス事業（補助） 長戸呂橋ほか C 辺地対策事業 市道大覚野線側溝改良工事ほか D 過疎対策事業 市道生保内学校通り線道路改良工事ほか E 道路緊急自然災害防止対策事業 鶴の湯道路舗装工事ほか ②道路維持事業（F、G、H） 安全・安心な交通確保のため、適切に道路を管理し、管理瑕疵による事故発生をなくします。 F 道路補修事業 舗装補修工事ほか G 冬期交通対策事業（除雪オペレーターの確保・女性オペレーターの育成等検討） H 雪寒地域建設機械整備事業（補助） 除雪機械購入 ③交通安全施設整備事業（I、J、K） 道路利用者の安全確保と利便性を図るため、カーブミラー、区画線、防護柵、歩道等の整備を行い交通安全の推進を図ります。 I 道路反射鏡（カーブミラー）設置工事 J 区画線設置工事 K 防護柵設置工事 ④安全・安心道路維持整備事業 市道岩瀬通線歩道整備工事	①補修完了済橋梁数 2022実績 4橋 2023実績 2橋 （桧木内橋、安久戸橋） 2024実績 2橋 （朴田橋、相内川橋） 2025実績 1橋 （内川橋） 2026目標 4橋 （長戸呂橋、福田橋、湯渕沢橋、小山寺橋） ※PCB除去含む ②路面欠損部補修数量 2024実績 128t 2025実績 140.5t 2026目標 250t ③カーブミラー設置数 2023実績 5基 2024実績 5基 2025実績 5基 2026目標 5基 ③区画線施工延長 2023実績 9,726m 2024実績 8,233m 2025実績 8,129m 2026目標 8,000m

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題5	○施策名（関係する課） 公園・緑地の整備 （建設課） ○達成水準（KGI） 【KGI】 市民アンケート「公園・緑地の整備」の満足度を上げる。 満足度（市民意識調査） 25.2%→30%（2025→2029） ○関係計画等 ・仙北市公園施設長寿命化計画 ・仙北市都市計画マスタープラン	既存の公園・緑地を安全・安心に利用できるよう維持管理し、自然と調和した潤いのある暮らしを提供できるよう努めます。 ①公園維持管理事業 A 生保内公園維持管理事業 ・生保内公園トイレ洋式化工事 ・遊具点検業務委託 ・つつじ剪定 ・草刈り、トイレ清掃等 B 公園維持管理事業（角館地区） ・角館駅東公園トイレ洋式化工事【済】 ・遊具点検業務委託 ・草刈り、トイレ清掃等 生保内公園及び角館駅東公園に健康器具の設置を検討【チャレンジ事業】	①トイレの洋式化 2024実績 0基 2025実績 2基（角館駅東公園） 2026目標 2基（生保内公園）
課題6	○施策名（関係する課） ハード整備による防災・減災対策と安全対策の強化（建設課） ○達成水準（KGI） 【KGI】 市民アンケート「防災体制の充実」の満足度を上げる。 満足度（市民意識調査）2029：40% ○関係計画等	豪雨などの自然災害が発生している中、市民が安全・安心に暮らすことができる環境づくりを目指します。 ①河川維持補修事業 河川に堆積した土砂等を撤去し河道確保することにより、大雨時の河川からの越水リスクの低減を図ります。 A 河川浚渫修繕	①浚渫修繕河川数 2025実績 4河川 （九才沢川・黒沢川・川口川・北沢川） 2026目標 2河川
課題7	○施策名（関係する課） 都市計画の推進と住宅・住環境の整備 （建設課） ○達成水準（KGI） 市民意識調査満足度 （都市計画の推進と住宅・住環境の整備） 17.3%→25.0%（2025→2029） 入居率（入居者戸数）100% ○関係計画等 ・仙北市都市計画マスタープラン ・仙北市公営住宅等長寿命化計画 ・仙北市耐震改修促進計画（第3期）	人口減少・少子高齢化に対応し、安全で持続可能な都市づくりを進めるため、仙北市都市計画マスタープランを改定し、立地適正化計画を策定します。 その他、既存の都市施設の適切な維持管理をします。 仙北市都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定業務 ・2025年度 計画策定業務委託着手、基礎調査 ・2026年度 計画、防災指針の策定、説明会等 ・2027年度 公表 ①市営住宅管理運営事業 入居募集を適宜行い入居率の向上に努めるとともに、既存住宅の補修を計画的に実施し、耐震性のない住宅は空き家となり次第順次解体します。 （除却対象住宅：武蔵野住宅、玉川住宅、田中住宅、岩瀬住宅） A ニュータウン塚野腰外壁・屋根塗装工事（2022～2029） ②住宅・建築物安全ストック形成事業（社会資本整備総合交付金事業） 地震による木造住宅の倒壊等の災害を未然に防止し、市民の安全・安心を確保するため、耐震診断と耐震改修の費用の一部に補助を行います。	①市営住宅管理運営事業 ニュータウン塚野腰改修工事棟数（全18棟） ～2024実績 8/18棟完了 2025実績 10/18棟完了 2026目標 12/18棟完了 ②耐震診断（補助） 2024実績 0件 2025実績 2件 2026目標 2件 ②耐震改修（補助） 2024実績 0件 2025実績 0件 2026目標 1件
課題8	○施策名（関係する課） 自然・歴史的環境の保全と活用 （建設課） ○達成水準（KGI） 【KGI】 ・市民意識調査満足度 （自然・歴史的環境の保全と活用） 38.6%→50%（2025→2029） ○関係計画等 ・第2次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略	美しい町並みや自然景観など、良好な景観に対する関心やニーズが高まるなか、自然や歴史的環境は保全と活用の両立が重要であり、地域資源として守りながら観光や教育に活かすことが求められます。 A 景観形成推進事業	A)景観学習教室参加者 2024実績 65名 2025実績 未実施 2026目標 68名

2026年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

教育委員会	部（局）	記入年月日	令和 8 年 7 月 1 日	部（局）長名	阿部 聡	記入者所属氏名	教育委員会 阿部 聡

1.部の役割・使命	仙北市政策基本方針「幸福度全国No.1のまちを目指し地域を次世代に継承する」 幸福度向上には、学校教育や社会教育の充実が不可欠であり、加えて全ての市民がふるさと仙北市を舞台に、生きがいをもって豊かに暮らす社会の実現を図ること、子ども・大人・高齢者・障がいを持つ人など全ての人がそれぞれの能力を発揮し、生きがいをもって生活する社会の創造が必要不可欠です。 教育版基本理念 ①学校教育：「誰をも取り残さない教育」 学校教育においては、「ふるさとを愛し、豊かな心・確かな学力・健やかな体をもち、未来の地域社会を支える意欲と高い志にあふれる仙北のこどもの育成」を目指し、幸福度につながる「誰をも取り残さない学校教育」を推進します。 ②社会教育：「誰もが生涯にわたって学び続ける教育」 社会教育においては、全ての市民が豊かな歴史的遺産や貴重な文化財、恵まれた教育環境に中で生き生きと学び合い、心豊かな人間を育むまちづくりを進めます。 ③幼保連携教育 「就学前教育の充実と学校教育への円滑な接続」を進めます。	2.部の人的資源（人） 20260701 現在	正職員	53
			会計年度任用職員	77

3・6つの重要視すべき価値	（1）市民一人ひとりのために	R8目標	①学校教育の基本理念「誰をも取り残さない教育の実現」 ・ふるさとを愛し、誇りに思う心の育成を基盤として「徳・知・体」のバランスのとれた子ども、自分の人生を拓いていくために「多様性」「柔軟性」「協働的な学び」を身につけた子どもの育成を目指します。 ②社会教育の基本理念「誰もが生涯にわたって学び続ける教育」 ・個性と人格を尊重し、共生社会の実現に向けて学習機会を拡充と切れ目のない支援で多様性に満ちた社会づくりに取り組みます。
		R7目標	①学校教育の基本理念「誰をも取り残さない教育の実現」 ・本市の豊かな自然、歴史的な遺産や偉人、貴重な文化財や人的資源を生かしながら、ふるさとを愛し、誇りに思う心の育成を基盤として「徳・知・体」のバランスのとれた子ども、将来の変化を予測することが困難な時代の中で自分の人生を拓いていくために「多様性」「柔軟性」「協働的な学び」を身につけた子どもの育成を目指します。 ②社会教育の基本理念「誰もが生涯にわたって学び続ける教育」 ・誰もが互いに個性と人格を尊重しながら、共生社会の実現に向けて様々な学習機会を拡充し、切れ目のない支援を通じて多様性に満ちた社会づくりに取り組みます。
	（2）常に目標・目的を問い続け	R8目標	①職員、教員、保護者、各種関係団体、学識経験者などからの幅広い意見を傾聴し、市民の幸福度につながる目標、目的を意識して企画立案・実施・点検・充実を行います。
		R7目標	①職員、教員、保護者、各種関係団体、学識経験者などからの幅広い意見を傾聴するとともに、市事務・施策評価や外部評価、教育委員会事務事業点検評価の実施を経る中で、市民の幸福度につながる目標、目的を意識して企画立案・実施・点検を行います。

３・６つの重要視すべき価値	（3）新しい手法・発想へのトライを続け	R8目標	①キャリア教育・ふるさと学習支援事業 ・ふるさとの魅力にふれる学習等を展開するとともに、一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて資質や能力を育てるキャリア教育の視点を重視した学習を充実します。 ②ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業 ・市内企業等の協力を得ながら「小学生職場体験」「中学校企業説明会」を実施し、児童生徒が本市を舞台に働く人々の姿を生で感じる機会を作ります。また、ガイドブック作成（地域で働く人材の紹介）を継続して行います。 ③コミュニティスクール事業 ・地域の皆様の意見・特技等を活かして地域の潜在的な教育力を学校運営に活かし、子どもたちの学びを豊かにすると共に地域の活性化を図る取組を進めます。 ④学校適正配置事業 ・本市が目指す教育の姿と児童生徒数の急速な減少を踏まえ、将来に持続可能で子どもたちの学びや成長にとって望ましい教育環境の具体的整備に取りかかります。 ⑤社会教育・生涯学習事業 ・多様な学習ニーズに細やかに対応し講座の充実、新規開拓を図り、良質な学びの場を提供するとともに、自ら学びたい学習や支援を通じて、豊かな心を育む事業を進めます。 ⑥文化・芸術事業 ・何度も施設に足を運びたくなる工夫を凝らした企画・展示・イベント・サービスを意識実践すると共に、企画側と観覧側の接点（ギャラリートーク等）を行い、親しまれる事業を進めます。 ⑦食育事業 ・安心安全の学校給食をはじめ、生活における食の大切さ、食を通じた健康教育の推進を図り、命の大切さを伝えます。
		R7目標	①キャリア教育・ふるさと学習支援事業 ・ふるさとの素晴らしさにふれる体験学習等を推進し、一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて資質や能力を育てるキャリア教育の視点を重視した学習を充実します。 ②ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業 ・ふるさとの未来を創る若者を育てる事業を継続し、児童生徒の市内企業訪問や職場体験、市内の企業紹介、ガイドブック作成（地域で働く人材の紹介）を行います。 ③コミュニティスクール事業 ・地域の皆様の意見・特技等を活かして地域の潜在的な教育力を学校教育に活用し、子どもたちの学びを豊かにすると共に地域の活性化を図る取組を進めます。 ④社会教育・生涯学習事業 ・多様な学習ニーズに細やかに対応し講座の充実、新規開拓を図り、良質な学びの場を提供するとともに、自ら学びたい学習や支援を通じて、豊かな心を育む事業を進めます。 ⑤文化・芸術事業 ・何度も施設に足を運びたくなる工夫を凝らした企画・展示・イベント・サービスを意識実践すると共に、企画側と観覧側の接点（ギャラリートーク等）を行い、親しまれる事業を進めます。 ⑥食育事業 ・安心安全の学校給食をはじめ、生活における食の大切さ、食を通じた健康教育の推進を図り、命の大切さを伝えます。
	（4）心身共に健康で	R8目標	自らの体調管理はもとより仲間の健康管理にも気を配り、相互理解のもと仕事と私生活のバランスを良好に保ち、充実した労働・生活をするよう努めます。
		R7目標	自らの体調管理はもとより仲間の健康管理にも気を配り、相互理解のもと仕事と私生活のバランスを良好に保ち、充実した労働・生活をするよう努めます。 PHRを用い生活習慣を振り返り、疾病を未然に防ぐ体づくりにつなげます。
	（5）市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R8目標	①地域の皆様の意見や特技等を活かして地域の潜在的な教育力を学校教育に活用するコミュニティスクールの取組を広げます。 ②ふるさとの未来をつくる若者、未来を支える自覚と高い志あふれる子どもを育てるため、市内企業と連携し仕事体験や実習の機会を創り、地域活性につなげます。
		R7目標	①地域の皆様の意見や特技等を活かして地域の潜在的な教育力を学校教育に活用するコミュニティスクールの取組を広げます。 ②ふるさとの未来をつくる若者、未来の地域を支える意欲と市を背負って立つ自覚と高い志あふれる子どもを育てるため、市内企業と連携し仕事体験や実習の機会を創り、地域活性につなげます。
	（6）コスト・成果にこだわる	R8目標	①コストダウンに努め多様性、柔軟性、協働的な学びを目指す教育を実施します。 ②仙北市行財政改革にかかる事務・施策評価、外部評価も含めた教育委員会事務事業点検評価を毎年行い、成果とコストのバランスがとれた事業を計画的に実行します。
		R7目標	①市民や子どもたちの学ぶ環境については、安全・安心であることを第一優先とし、コストダウンに努め多様性、柔軟性、協働的な学びを目指す教育を実施します。 ②「食」を通じた健康教育の推進に努め、命の大切さを伝えて食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図ります。 ③仙北市行財政改革にかかる事務・施策評価、外部評価も含めた教育委員会事務事業点検評価を毎年行い、成果とコストのバランスがとれた事業を計画的に実行します。

4．6つの重要視すべき価値R7目標に対する総括	学校教育では未来の仙北市を担う子どもを育てるため、骨太の人間の育成、仙北市プライドの醸成を目指し「授業でこそ人づくり」「子どもの心に灯をともす指導」をテーマに、社会教育では、市民に上質な文化を提供するを合い言葉に市民目線でフットワークを軽くして各事業を実践・展開しています。 目標を明確にし、市民ニーズを的確に把握しながらあらゆる手段を活用して成果を高めていく手法こそが市民の幸福度を上げることにつながるとの確信の下、徹底した現場主義を貫き、要望に真摯に向かい合い、応えていくやり方を進めています。 職員同士が話し合い、悩み、考え、連携、試行錯誤しながらもその歩みは力強さを増してきています。引き続き学校や市民の要望に真摯に向き合い、その要望に応える努力を継続します。 令和8年度も子どもたちや学校、保護者や市民の要望に真摯に向かい合い、より良い社会を創るという目標を共有し、地域と連携・協働しながら、未来の作り手となる子どもたちに必要な資質・能力を育むことを実現するよう、ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業、コミュニティスクール事業、学校適正配置関連事業をより一層推進します。 事業を進める上では、誰かがなんとかしてくれる、のではなく、関わる全ての市民自らが「当事者」として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていく意識を高めます。 また、地域の教育力を活かし「関わる人全てが育つ学校」の考えを浸透させ、参加から参画、協力から協働により、関わる全ての人が当事者になることで、子どもたちが幸せに安心して暮らせるまち、子どもたちが「志」を果たしていけるために未来を創り上げていくまちの当事者として、達成感、満足度向上につなげていきます。 そのためにも問題、課題はもとより、その改善点、解決策、ヒント、方向性が共存している現場主義にこだわり、市民目線でフットワークを軽くして市民サービスを提供します。

5．取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業 ※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可	指標及び目標値（KPI）
課題1	○施策名（関係する課） 未来を担う子どもたちの育成 （北浦教育文化研究所、学校教育課） ○達成水準（KGI） 【KGI】 市民意識調査における「18歳以下の子どもがいる市民」の「未来を担う子どもたちの育成」の「満足」と「やや満足」の割合 17.7%（2025）→20.0%（2029） ○関係計画等 ・仙北市の教育 ・ヤマメ・サクラマスプロジェクト	①ふるさとを愛し、地域社会の未来を支える意欲と高い志にあふれる子どもを育てるため、次の施策を行う。 A キャリア教育・ふるさと学習支援事業 ・各学校の教育目標に沿った地域資源を活かした体験活動 B ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業【チャレンジ事業】 ・小学生職場体験 ・企業PRポスター作成 ・夢ガイドブック作成 ・中学生職業講座（企業説明会）開催 ・職場訪問・職場体験 ・キャリアマイスターによる講演会の開催 ・「仕事で輝く人」パネルディスカッションの開催 C コミュニティ・スクールの推進 ・地域住民の特技を活かした教育力を学校教育に活用 D 国際交流事業 ・社会のグローバル化や国際化に柔軟に対応できる子どもの育成	AB) 全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」の肯定的回答 小学校： 61.8%（2022）→93.4%（2024）→92.2%(2025)→95.0%（2026） 中学校： 50.5%（2022）→84.3%（2024）→94.1%(2025)→95.0%（2026） C) コミュニティ・スクール導入校の割合 0%（2022）→70.0%（2024）→100.0%（2025）→100.0%(2026) D) 中学生の国際交流事業が役立ったとの回答 中学校：未実施(2024)→100%(2025）→100%(2026)
課題2	○施策名（関係する課） 学校再編の推進と部活動の地域展開 （学校教育課・学校統合推進室） ○達成水準（KGI） 【KGI】 市民意識調査における「18歳以下の子どもがいる市民」の「学校部活動の円滑な地域移行、持続可能で望ましい学校の適正配置」の「満足」と「やや満足」の割合 33.3%（2025）→35.0%（2029） ○関係計画等 ・仙北市の教育 ・学校施設環境改善計画 ・学校施設長寿命化計画 ・小・中学校適正配置計画	①市内小中学校の環境（ハード・ソフト面）を充実させるため、次の施策・事務を行う。 A 諸工事事業 B 維持修繕事業（学校施設の維持） C 中学校部活動指導員配置事業 D 学校適正配置事業	A) 中学校部活動指導員配置校率 100%（2025）→100%(2026) B) スクールバス台数4台（2025）→4台(2026) C) 小学校数5校（2024）→5校(2025)→3校(2028) D) 中学校数5校(2024)→5校(2025)→4校(2027)→3校(2029)

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題3	○施策名（関係する課） ICTを活用した学校教育の充実 (学校教育課) ○達成水準（KGI） 【KGI】 市民意識調査における「18歳以下の子どもがいる市民」の「ICTを活用した学校教育の充実」の「満足」と「やや満足」の割合 35.7%（2025）→37.0%（2029） ○関係計画等 ・仙北市の教育 ・情報学習支援員派遣事業	①ICTを活用した学校教育の充実のため、GIGAスクール構想推進事業を拡大する。 A GIGAスクール構想推進事業 ・学校情報支援専門官の配置による環境整備 ・ICT(情報)支援員の配置によるスキルの指導・支援 ・専用回線プロバイダ契約料、フレッツ光ネクスト使用料、ICT授業サポート業務、保守業務委託、フィルタリングソフト使用料等、GIGAスクール教職員向け研修、パスワード・ID管理、年次更新、トラブルシューティング、教育DXへの対応	A) 全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「児童生徒が日常的にICTを使っている： 週3以上使用割合 小学校82.7%（2022）→48.2%（2024）→82.8%（2025）→85.0(2026) 中学校29.6%（2022）→46.5%（2024）→61.5%（2025）→65.0%(2026)
課題4	○施策名（関係する課） 生涯学習の推進 （生涯学習課） ○達成水準（KGI） 【KGI】 市民意識調査における「若者の交流、定着（土着）支援」の「満足」と「やや満足」の割合 22.1%（2025）→30.0%（2029） ○関係計画等 ・第2次仙北市総合計画 ・仙北市の教育 ・第4次仙北市社会教育中期計画 ・ヤマメ・サクラマスプロジェクト	①仙北市を舞台にふるさとの未来をつくる若者を育てるため、次の施策を推進・促進する。 A 学校・家庭・地域連携総合推進事業 ・地域学校協働本部 B 二十歳の集い C 勤労青少年ホーム管理運営事業	A) 学校・家庭・地域連携総合推進事業・地域学校協働本部の周知回数 10回(2025)→25回(2026) B) 二十歳の集い参加率 71.6%（2022）→74.3%（2023）→77.2%（2024）→78.4%（2025）→80.0%(2026) C) 勤労青少年ホーム、外ノ山テニスコート利用者数7,000人（2022）→6,518人（2023）→ 9,977人(2024)→9,358人(2025)→9,000人(2026)
課題5	○施策名（関係する課） 多様な教育文化の交流の場づくり (各公民館) ○達成水準（KGI） 【KGI】 市民意識調査における「多様な教育文化の交流の場づくり」の「満足」と「やや満足」の割合 23.3%（2025）→25.0%（2029） ○関係計画等 ・仙北市の教育 ・ヤマメ・サクラマスプロジェクト ・第4次仙北市社会教育中期計画	①多様な学習機会の提供はもとより、自主的な学習活動の支援、学習成果発表の支援を行うため、次の施策を行う。 A 公民館活動推進事業（若者向けメニューの講座開催） B 仙北市文化祭開催補助金事業	A) 公民館講座参加人数1,583人（2022）→2,004人（2023）→1,575人（2024）→1,501人(2025)→1,600人(2026) B) 文化祭来場者数400人（2022）→1,445人（2024）→1,251人(2025)→1,500人(2026)

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題6	○施策名（関係する課） 多様な教育文化の交流の場づくり (市民会館) ○達成水準（KGI） 【KGI】 市民意識調査「仙北市内の市民会館、美術館等で芸術鑑賞や芸術活動をした」割合 17.8%（2025）→18.5%（2029） ○関係計画等 ・仙北市の教育 ・ヤマメ・サクラマスプロジェクト ・第4次仙北市社会教育中期計画	①多様な学習機会の提供はもとより、自主的な学習活動の支援、学習成果発表の支援を行うため、次の施策を行う。 A 市民会館自主事業(自衛隊音楽隊コンサート等のイベント開催)	A) 自主事業実施数8回（2022）→6回（2023）→5回（2024）→7回(2025)→8回（2026） 来館者数4,586人（2022）→3,971人（2023）→6,930人（2024）→7,350人(2025)→7,500人(2026) 利用率47%（2025）→60%（2026）
課題7	○施策名（関係する課） 読書活動の推進 (学習資料館、田沢湖図書館、生涯学習課) ○達成水準（KGI） 【KGI】 市民意識調査における「読書活動の推進」の「満足」と「やや満足」の割合 35.2%（2025）→38.0%（2029） ○関係計画等 ・仙北市の教育 ・仙北市市民読書条例 ・第4次仙北市社会教育中期計画 ・第3次仙北市子ども読書活動推進計画	①読書活動の推進のため、図書館機能の充実やサービスについて、次の施策を行う。 A 学習資料館利用促進事業 ・学習資料館人材確保（会計年度任用職員）、読書普及及びイベントの実施 B 図書館サービス拡充事業 ・田沢湖図書館人材確保（会計年度任用職員）、読書普及及びイベントの実施 C 学校図書館支援事業 ・児童生徒の読書の促進に係る学校図書環境整備の実施 D 図書館情報システム管理運営事業（共通） E 学習資料整備事業（図書の購入） F 図書資料購入事業（図書の購入） G 子ども読書活動推進事業(共通)	A) 学習資料館 来館者数 31,093人（2022）→34,299人（2023）→34,365人（2024）→34,717人（2025）→35,000人(2026) B) 田沢湖図書館 来館者数 20,018人(2022)→19,648人(2023)→19,047人(2024)→17,356人(2025)→22,000人(2026) C) 学習資料館 児童・生徒1人当たり貸出冊数 13.97冊（2022）→14.00冊（2023）→12.15冊（2024）→11.07冊（2025）→12.00冊(2026) D) 学習資料館 貸出人数 9,293人（2022）→9,638人（2023）→9,323人（2024）→9,173人（2025）→9,500人(2026) 田沢湖図書館 13~59歳登録者数における利用者数の割合 7.9%（2022）→7.24%（2023）→7.18%（2024）→6.84%（2025）→10.00%(2026) E) 学習資料館 住民1人当たり貸出冊数 2.23冊（2022）→2.30冊（2023）→2.37冊（2024）→2.37冊（2025） →2.50冊(2026) F) 田沢湖図書館 住民1人当たり貸出冊数 2.23冊（2022）→2.30冊（2023）→2.37冊（2024）→2.37冊（2025）→2.50冊(2026) G) 学習資料館 児童書貸出冊数 5,958冊（2022）→6,303冊（2023）→6,672冊（2024）→7,622冊(2025)→7,700冊(2026) 田沢湖図書館 児童書貸出冊数 3,097冊（2022）→3,167冊（2023）→3,197冊（2024）→5,572冊(2025)→6,000冊(2026)

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題8	○施策名（関係する課） 地域に根ざした文芸、美術作品の充実と周知 (イベント交流館、角館町平福記念美術館) ○達成水準（KGI） 【KGI】 市民意識調査における「地域に根差した文芸、美術作品の充実と周知」の「満足」と「やや満足」の割合 30.5%（2025）→31.0%（2029） ○関係計画等 ・仙北市の教育 ・第4次仙北市社会教育中期計画	①郷土の画人、文人を顕彰し、文芸、美術作品の紹介をするため、他の施設と連携した事業も検討しながら次の施策を行う。 A イベント交流館展示事業 B 美術館常設・企画展示事業 C 児童生徒県南美術展開催事業	A) イベント交流館入館者2，739人（2022）→3，166人(2023)→2，957人（2024）→2,541人(2025)→3,000人(2026) B) 角館町平福記念美術館常設・企画展示入館者 6，326人（2022）→8，175人(2023)→8，428人（2024）→9,484人(2025)→8,600人(2026) C) 児童生徒県南美術展入館者数2，522人（2022）→2，754人(2023)→2，595人（2024）→2,778人(2025)→2,900人(2026)
課題9	○施策名（関係する課） 学校給食による食育の推進 （総合給食センター） ○達成水準（KGI） 【KGI】 地場産食材使用率（重量）※県主要15品目の割合 22.8%(2025)→35.0%(2029) ○関係計画等 ・仙北市の教育 ・仙北市食育推進計画	①学校給食による食育の推進を行うため、次の施策を行う。 A 地場産食材の使用回数増強事業(※米飯を除く)	A) 地場産食材の使用回数123回(2024)→144回(2025)→150回(2029)

2026年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

医療局	部（局）	記入年月日	令和 8 年 7 月 1 日	部（局）長名	目黒 崇	記入者所属氏名	医療局 目黒 崇

1.部の役割・使命	医療局は、市立田沢湖病院、市立角館総合病院の抜本的な経営改善を進め、地域の病院として、持続可能な医療提供体制を確保し幸福度全国№1のまちづくりに努めます。実行にあたり、市民に寄り添った医療を提供し、市民から愛され、信頼される病院を目指します。	2.部の人的資源（人） 20260701 現在	正職員	255
			会計年度	103

3・6つの重要視すべき価値	（1）市民一人ひとりのために	R8目標	常に患者の声に耳を傾け、受付から診察を終えるまで患者の思いに寄り添った接遇と医療提供に努めます。
		R7目標	同上
	（2）常に目標・目的を問い続け	R8目標	経営健全化計画の目標達成のため、職員一人ひとりが一層危機感を認識して業務に当たり、改善策を着実に取り組み資金不足の解消に努めます。
		R7目標	人口減少が急速に進む中、仙北市地域医療計画（経営強化プラン）を基に病床数などを検討し、実情に合った数値目標の見直しを行いながら医療提供体制の構築を図ります。
	（3）新しい手法・発想へのトライを続け	R8目標	医療DXなどの新しい手法を検討し、次世代のヘルスケア・システムの構築を目指します。
		R7目標	同上
	（4）心身共に健康で	R8目標	36協定（労働基準法第36条に基づく労使協定）を基盤に労務管理の一層の適正化を図り、職員の心身の健康を確保し医療サービスの向上に努めます。
		R7目標	同上
	（5）市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R8目標	地域包括ケアの連携強化に向け、多職種による連携を積極的に推進します。基幹病院をはじめ、近隣の医療機関、介護施設等との連携を強化し集患対策を図ります。
		R7目標	地域包括ケアの連携強化に向け、多職種による連携を積極的に推進します。
	（6）コスト・成果にこだわる	R8目標	購買適正化等を推進し、経費の削減や業務の改善に繋げます。
		R7目標	同上

4. 6つの重要視すべき価値R7目標に対する総括	角館総合病院で7月に実施した病棟再編による夜間看護手当の抑制や安価な診療材料の切り替え等の経費削減効果はあるものの、病院事業全体の医業収益において、患者数の減少及び角館総合病院での急性期入院基本料の引き下げに伴い対前年度比で減少している状況である。引き続き、集患対策の強化による収益の増強と外来診療の再編等による経費の削減を貪欲に取り組み経営改善の強化に努める。

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業 ※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可	指標及び目標値（KPI）
課題1	○施策名（関係する課） 役割・機能の最適化と連携の強化及び2つの市立病院の再編統合による組織改革 （田沢湖病院、角館総合病院、医療管理課、経営戦略室） ○達成水準（KGI） 市民に寄り添った医療を提供し、持続可能な医療提供体制の構築 【KGI】 ・市民意識調査 市民満足度30%以上 2025：24.1% ・患者満足度調査（入院・外来）90%以上 2024：90.2% 2025：88.7% ・2026：資金不足比率34.4%以下 2025：実績値（55.0%） ○関係計画等 ・仙北市病院事業経営健全化計画 ・仙北市地域医療計画 （公立病院経営強化プラン）	①役割・機能の最適化と連携の強化 今後、持続可能な地域医療提供体制を確保するためには、限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用することが必要です。 このため、地域の中で各公立病院が担うべき役割や機能を改めて見直し、明確化、最適化した上で、病院間の連携を強化する「機能分化・連携強化」を推進します。 令和7年度に策定の経営健全化計画を着実に実行し資金不足の解消を図り、患者からの信頼が病院経営の基盤であることを念頭に経営改善に全力を尽くします。 A 秋田大学との連携（寄附講座の開設、総合診療科医の派遣、専門医派遣による指導育成、検査業務の連携等） B 大曲厚生医療センターとの連携強化（医師派遣、入院患者の転院、医療機器の共同利用） C 田沢湖病院と角館総合病院の連携強化（医療スタッフの連携） D 近隣病院、派遣元病院との連携強化（訪問活動、患者紹介等） ■病床機能、外来診療体制の構造改革 【田沢湖病院】 E 県南医療圏には自院しかない障害者施設等一般病床の優位性を積極的にPRするなど集患対策の強化 F 玉川温泉との連携強化（湯治客等のオンライン診療） G 医療MaaSの活用 【角館総合病院】 H 地域包括ケア病床の入院料1（上位施設基準）取得、外来診療体制の再編 I 薬剤管理指導の推進（病棟薬剤指導） J 検診・人間ドック枠の拡充 K 玉川温泉との連携強化（湯治客等のオンライン診療） L 接遇等に係る院内巡回によるチェック（結果については、接遇向上対策委員会で検証し再発防止、改善策をフィードバックする。） M 医療MaaSの活用 ②2つの市立病院の再編統合による組織改革 医療需要の減少と全国的に深刻化している医療人材の不足は、病院経営に大きな負荷となっています。病院事業改革を進め、この課題を乗り越えるためには持続可能な経営体へ新生する必要があります。令和10年度の統合病院の開院に向けて資金不足額の圧縮に努めつつ、2つの市立病院の統合再編による組織改革に取組みます。 N 統合病院の開設（持続可能な経営体へ） O 田沢湖病院の入院病床の休止 〈再編統合スケジュール〉 ・令和8年度 再編統合に至る理由、統合後の新病院の役割や診療機能、今後の仙北市の医療ビジョンなどを説明するタウンミーティング等を開催し、市民の合意形成を図る。 ・令和9年度 診療体制の変更などについて各病院職員の理解を深めるとともに、田沢湖病院の入院患者・家族に対する意向確認を進め、 関連条例の改正を行う。 ・令和10年度 新生・統合病院の開院	・患者等クレーム件数 （患者相談窓口、ご意見箱等） 【田沢湖病院】 2024実績（3件） 2025実績（3件） 2026目標（0件） 【角館総合病院】 2024実績（16件） 2025実績（14件） 2026目標（10件） ・入院患者数(1日平均) 【田沢湖病院】 2024実績（35.2人） 2025実績（39.8人） 2026目標（48.0人） 【角館総合病院】 2024実績（123.6人） 2025実績（122.5人） 2026目標（135.0人） ・外来患者数（1日平均） 【田沢湖病院】 2024実績（102.2人） 2025実績（100.1人） 2026目標（115.0人） 【角館総合病院】 2024実績（408.6人） 2025実績（415.8人） 2026目標（435.0人） ・診療単価（入院） 【田沢湖病院】 2024実績（24,072円） 2025実績（23,795円） 2026目標（24,400円） 【角館総合病院】 2024実績（40,577円） 2025実績（39,652円） 2026目標（40,600円） ・診療単価（外来） 【田沢湖病院】 2024実績（7,170円） 2025実績（7,314円） 2026目標（7,500円） 【角館総合病院】 2024実績（9,599円） 2025実績（9,855円） 2026目標（10,000円）

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題2	○施策名（関係する課） 医師・看護師等の確保と働き方改革の推進及び職員の適正配置 （田沢湖病院、角館総合病院、医療管理課、経営戦略室） ○達成水準（KGI） 市民に寄り添った医療を提供し、持続可能な医療提供体制の構築 【KGI】 ・市民意識調査 市民満足度30%以上 2025：24.1% ・患者満足度調査（入院・外来）90%以上 2024：90.2% 2025：88.7% ・2026：資金不足比率34.4%以下 2025：実績値（55.0%） ○関係計画等 ・仙北市病院事業経営健全化計画 ・仙北市地域医療計画 （公立病院経営強化プラン）	①医師・看護師等の確保と働き方改革の推進 　2024年4月から、医師の時間外勤務の時間が大幅に削減となり、労働基準監督署から宿日直の許可の取得が求められてい たところであるが、令和5年度に産婦人科及び救急外来当直の許可を取得したところです。 　この様に医療資源の減少が進む中、一層医師等の働き方改革の取組みが求められている状況である。医師・看護師等の確保に加え、医師の時間外労働規制への対応等、労働環境の改善を進めながら、医療スタッフの確保を図ります。 ②職員の適正配置 　人件費抑制の観点から業務量に応じた適正配置により職員数の縮減を図る。 P 医師、看護師等を目指す人材育成 （児童・生徒の医療現場体験、企業説明会への参加等・秋田県、商工課、教育委員会等との連携） （秋田大学医学部での学生を対象とした病院説明会への参加） Q 看護師等修学資金貸与制度の推進　※制度一部改正（医師を除く。） R 秋田大学への寄附講座の設置【チャレンジ事業】 （「仙北ウェルビーング地域医療・総合診療連携講座」を設置し、地域医療人材の育成及び確保の推進） S 職員やりがい度調査実施（両病院共通 2023～）	・医師数 【田沢湖病院】 2024実績（5人） 2025実績（7人） 2026目標（5人） 【角館総合病院】 2024実績（18人） 2025実績（19人） 2026目標（19人） ※研修医は含まない。 ・看護師数 【田沢湖病院】 2024実績（37人） 2025実績（37人） 2026目標（35人） 【角館総合病院】 2024実績（140人） 2025実績（138人） 2026目標（136人） ・職員やりがい度調査 【田沢湖病院】 2024実績（76.5%） 2025実績（73.1%） 2026目標（80%以上） 【角館総合病院】 2024実績（72.9%） 2025実績（76.3%） 2026目標（80%以上）